

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二、三、四）
からの変更内容

目 次

I. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について	1
定量的に定める施設管理目標の変更内容について	
II. 施設管理実施計画の変更内容について	1
III. 定期事業者検査の判定方法の変更内容について	1
別紙－1 施設管理目標の変更内容	
別紙－2 施設管理実施計画の変更内容	

- I. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理目標の変更内容について
別紙-1のとおり

- II. 施設管理実施計画の変更内容について
別紙-2のとおり

- III. 定期事業者検査の判定方法の変更内容について
なし

施設管理目標の変更内容

No.	指標	系統名、要求機能	変更理由	該当ページ
1	プラントレベル	—	保安規定改正に伴う変更	別紙1-2
2	系統レベル	安全注入系統 アクシデントマネジメント 機能 【代替再循環】	重大事故等対処設備において、同じ 機能を設定していたことから削除	別紙1-4
3	系統レベル	原子炉補機冷却水系統 アクシデントマネジメント 機能 【格納容器自然対流冷却】	重大事故等対処設備において、同じ 機能を設定していたことから削除	別紙1-7
4	系統レベル	制御用空気系統 MS-1⑧安全上重要な関連機 能	UA時間目標値を適正化（保安規定 と整合）	別紙1-8
5	系統レベル	格納容器換気空調系統 アクシデントマネジメント 機能 【格納容器自然対流冷却】	重大事故等対処設備において、同じ 機能を設定していたことから削除	別紙1-8
6	系統レベル	中央制御室換気空調系統 MS-2安全上重要な関連機能 【間接関連系】	同系統MS-1安全上重要な関連機能と 系統を共有していることから、一つ の機能として管理することとしたた め削除	別紙1-8
7	系統レベル	重大事故等対処設備 電源設備	非常用ガスタービン発電機および蓄 電池（3系統目）の運用開始に伴う 記載の追加および記載の適正化	別紙1-14
8	系統レベル	特定重大事故等対処施設を 構成する設備 〈一式〉	特定重大事故等対処設備の運用開始 に伴う監視項目の追加	別紙1-16

1. プラントレベルの保全活動管理指標

指標	目標値
計画外原子炉自動・手動トリップ回数	< 1回/7000臨界時間
計画外出力変動回数	< 2回/7000臨界時間
工学的安全施設の計画外作動回数	< 1回/サイクル

2. 系統レベルの保全活動管理指標

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPFF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
1次冷却材系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	<1回	-	●他の系統に属する原子炉冷却材圧力バウンダリ機器についてもこの指標で管理する。
	PS-1②過剰反応度の印加防止機能	<1回	-	
	PS-1③炉心形状の維持機能	<1回	-	
	MS-1①原子炉の緊急停止機能	<1回	0時間	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0時間	
	MS-1③原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	<1回	0時間	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込み機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2④安全弁・逃がし弁の吹き止まり機能	<1回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	[加圧器逃がし弁] <1回 [加圧器逃がし弁元弁、加圧器後継ヒータ] <2回	<72時間/各逃がしライン <72時間/各ヒータ系統	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】※1	<2回	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】※1	<2回	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】※1	<2回	モード1~3 <72時間/各逃がしライン モード4~6 <24時間	

※1 要求機能における【LCO】の表記は、クラス3の機能のうち、原子炉施設保安規定の運転上の制限に関連する機能を示す。以下、本表において同様。

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値【マイルあたり】	非待機時間(UA時間) 目標値【マイルあたり】	
化学体積制御系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1②未飽和維持機能	<1回	<240時間 両トレイン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<2回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<240時間	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	-	
	冷却材補給機能	<2回	<720時間	
	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1②未飽和維持機能	<1回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	<1時間/各蓄圧タンク タンク2基以上同時 0時間 <240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
安全注入系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	エクスパンションタンクバウンダリ機能 【代替措置】	<2回	<720時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1ヶ月あたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2ヶ月あたり]	
余熱除去系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	-	
	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	<240時間/各トリン 同時0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<1回	-	
	余熱除去系統への漏えい監視機能	<2回	-	
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トリン 同時0時間 <72時間/タンク	●消火設備系統のアクシデントマネジメント機能【格納容器消火スプレイ注水】を含む。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<72時間/タンク	
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	<1回	<4時間/各原子炉格納容器隔離弁 <24時間/各エアロック	●他の系統に属する格納容器バウンダリ機器についてはこの指標で管理する。
原子炉格納施設	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	
	PS-2②放射線物質を貯蔵する機能	<2回	-	
	PS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	-	
使用済燃料ピット冷却系統	PS-3③放射線物質を貯蔵する機能【間接関連系】 【LCO】	<2回	-	
	PS-2②放射線物質を貯蔵する機能	<2回	-	
燃料取扱設備	PS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	-	
	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	-	

系統名	要求機能	保安活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値【サイクルあたり】	非待機時間(UA時間) 目標値【サイクルあたり】	
燃料取替用水系統	MS-1②未臨界維持機能	<1回	<1時間	
	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	<1時間	
	MS-1⑩放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	-	-	●格納容器・バウンダリ機器については、原子炉 格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
	MS-1⑪放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい 及び放出低減機能	<1回	<1時間	
	MS-2①使用済燃料ピットの補給機能	<2回	<720時間	
	MS-1⑭原子炉停止後の除熱機能	<1回	<72時間/各ライン	
主給水系統	MS-1⑯放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	-	-	●格納容器・バウンダリ機器については、原子炉 格納施設のMS-1⑯指標で管理する。
	MS-2②異常状態の緩和機能	<2回	<72時間/各ライン	
	MS-1⑳原子炉停止後の除熱機能	<1回	<6時間/各安全弁 <8時間/各ライン隔離 <168時間/各逆がしライン <240時間/各蒸気元弁	
	MS-1㉑放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	<1回	<168時間/各逆がしライン <8時間/各ライン隔離 <8時間/各逆止弁	
	MS-2③異常状態の緩和機能	<2回	<720時間	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<1回	<240時間/各系統 2系統以上 0時間 <168時間/タンク	
補助給水系統	MS-1㉒放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	-	-	●格納容器・バウンダリ機器については、原子炉 格納施設のMS-1㉒指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<240時間/各ライン	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	<720時間	

系統名	要求機能	保安活動管理目標目録			備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]		
2次系純水系統	原子炉停止後の除熱機能	<2回	<720時間		
蒸気発生器ブローダウン系統	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<240時間/各ライン		
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-		●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<240時間/各ライン		
	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能[LCO]	<2回	-		
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-		●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<240時間/各ライン 同トリン同時 0時間 隔離機能 <240時間		●空潤用冷水設備系統のアクシデントマネジメント機能【代替補機冷却】も含む。
	MS-2③事故時のブラント状態の把握機能	<2回	-		
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能[LCO]	<2回	-		
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	-		
	アクシデントマネジメント機能 【格納容器自然対流冷却】	42回	4720時間		●海水ピットを含む。
原子炉補機冷却海水系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<105時間/各トリン 同トリン同時 0時間		
気体廃棄物処理系統	PS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	-		
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-		●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
液体廃棄物処理系統	1次冷却材漏えい率監視機能	<2回	-		
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能[LCO]	<2回	-		
原子炉補給水系統(純水)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-		●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPFF回数) 目標値【サイクルあたり】	非待機時間(UA時間) 目標値【サイクルあたり】	
制御用空気系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	制御用空気圧縮装置 2台同時 <72時間 <72時間/各トレイン	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<240時間	●制御用空気系統のMS-3⑩原子炉圧力上昇の緩和機能の直接関連系も含む。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
所内用空気系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	<2回	<720時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
消火設備系統	アクシデントマネジメント機能 【格納容器消火スプレイ注水】	-	-	●格納容器スプレイ系統の主配管から、スプレイ系統側の稼働配管もこの指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器換気空調系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間	
	アミンシステムマネジメント機能 【格納容器自然対流冷却】	<2回	<720時間	
アニュラス空気浄化系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
補助建屋換気空調系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トレイン	
安全補機室空気浄化系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	DC室、電動補助給水ポンプ室、制御用空気圧縮機室 <240時間/各トレイン/各室 両トレイン同時 <72時間/各室	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<1回	タービン動補助給水ポンプ室、安全補機室 両トレイン同時 <72時間/各室	
中央制御室換気空調系統	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	<720時間/各トレイン 全トレイン同時 <240時間	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	<240時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPTFR回数) 目標値[1ヶ月あたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2ヶ月あたり]	
空調用冷水設備系統	MS-1⑩放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】 MS-1⑨安全上特に重要な関連機能 MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	- ＜1回 ＜2回	- ＜720時間/各ライン 全ライン同時 ＜240時間 ＜720時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
空調用冷水設備系統	アクシデントマネジメント機能 【代替補機冷却】	＜2回	＜720時間	●原子炉補機冷却水系統の余熱除去ポンプ3B及び電動機冷却水出入口系統の主配管が、補機冷却水系統側の接続配管もこの指標で管理する。
格納容器減圧バージ系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
1次系試料採取系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
モニタ空気サンプリング系統	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能 PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	＜2回 ＜2回	- -	- -
格納容器真空逃がし系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】 MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	＜2回	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器水素バージ系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】 原子炉格納容器真空逃がし機能	＜2回	＜240時間/系統 2系統同時 0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器補機率試験装置系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
非常用ディーゼル発電機系統	MS-1⑨安全上特に重要な関連機能	＜1回	ディーゼル発電機 燃料油サービスタング貯油最 ＜240時間/各系 燃料油・潤滑油・始動用空気 ＜48時間/各系/各系	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
外部電源系統	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	すべての外部電源が他の回線に対して独立性を有していない場合、および動作可能な外部電源が2回線である場合 720時間/系統 動作可能な外部電源が1回線である場合 240時間 全ての外部電源が動作不能 24時間	
メタグラ系統	MS-1⑦原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<6時間/各チャンネル	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能[間接関連系])	<2回	-	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	
パワーセンタ系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能[間接関連系])	<2回	-	
コントロールセンタ系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
直流電源装置系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	非常用直流母線 <2時間/各母線 蓄電池及び充電器 <128時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能[間接関連系])	<2回	-	
計装用電源系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<2時間/各母線	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	
制御棒駆動電源装置系統	MS-1①原子炉の緊急停止機能	<1回	<1時間/各トレイン	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	

系統名	要求機能	保全活動管理措置目標値		備考
		予防可能故障回数(MPFR回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
原子炉制御保護装置	MS-1⑦原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<10時間/各チャンネル <48時間/各インターロックチャンネル <6時間/各ロータリ盤 <6時間/各シーケンス盤	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<6時間/各DGTレイン <720時間/各M信号レイン <6時間/各シーケンス盤	
	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各レイン	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<1回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<72時間/各シーケンス盤	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能[LCO]	<2回	モータ1~3 <72時間/各逆がし弁 モータ4~6 <24時間	
	制御室迅速時制御盤への情報伝送機能	<2回	-	
	制御棒位置指示機能	<2回	-	
	PS-3⑤プラント計測・制御機能[LCO]	<2回	-	
制御棒制御装置	制御棒バンク位置表示機能	<2回	-	
	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	<720時間	
制御室迅速時制御盤	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能[LCO]	<2回	-	
	MS-1⑨原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<6時間/各チャンネル <1時間/各インターロックチャンネル	
炉外核計装置	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	線源領域中性子束指示機能	<2回	-	

系統名	要求機能	保安活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[サイクルあたり]	
炉内核計装装置	PS-3⑤プラント計画・制御機能【LCO】	<2回	-	
放射線監視装置	MS-2②事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	-	
換気系制御室迅速時制御盤	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	<720時間	
建屋(原子炉建屋)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	●燃料取扱棟のMS-2②放射性物質放出の防止機能も含む。
建屋(原子炉補助建屋)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	
	MS-1⑤安全上特に重要な関連機能	<1回	-	●中央制御室の遮へい機能。
防護設備	電巻、給水管に対して発電用原子炉施設を防護する機能	<2回	-	

系統名	要求機能	保全活動管理目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPFR回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備		多様化自動作動装置(ATWS) 緩和設備)論理回路 720時間/系統 蒸気発生器水位低 720時間/チャンネル	
	1次冷却系統のフィードアンドブリードをするための設備		高圧注入系 240時間/系統 加圧器逃がし弁 72時間/台	
	炉心注水をするための設備		高圧注入系 全系統同時 0時間 高圧再循環系 全系統同時 0時間 低圧注入系 全系統同時 0時間 低圧再循環系 全系統同時 0時間 充てんポンプ(B, 自己冷却式)による代替注水系 720時間 中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系 720時間/系統 代替再循環運転 [格納容器スプレイポンプ (B, 代替再循環配管使用)による代替再循環系] 240時間 代替再循環運転 [格納容器再循環ポンプB隔離弁バイパス弁] 72時間 代替再循環運転 [高圧注入ポンプ(B, 海水冷却)による高圧再循環系] 240時間	
	1次冷却系統の減圧をするための設備	SAクラス2: <1回 SAクラス3: <2回	蒸発ポンプ(加圧器逃がし弁用) および加圧器逃がし弁用可搬型蓄電池を使用した 加圧器逃がし弁による1次冷却材系統の減圧系 240時間/系統	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備		原子炉格納容器スプレイ系 全系統同時 0時間 スプレイ再循環系 全系統同時 0時間 代替原子炉格納容器スプレイポンプによる 代替原子炉格納容器スプレイ系 720時間	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備		原子炉格納容器内自然対流冷却系 720時間 中型ポンプ車による原子炉格納容器内自然対流冷却系 および代替補機冷却系 720時間/系統 2系統同時 240時間	
	2次冷却系からの除熱(注水)をするための設備		補助給水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 および 補助給水タンクを水源としたタービン動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 両系統が動作不能である場合: 0時間	

系統名	要求機能	保安活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
重大事故等対処設備	2次冷却系からの除熱(蒸気放出)をするための設備		主蒸気逃がし弁 72時間/個 2個以上同時 24時間	
	水蒸機発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備		静的触媒式水素再結合装置 72時間/基 格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系 720時間	
	水素機発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備		アニュラス空気浄化系 0時間/全系統同時 代替空気(窒素)系統 240時間	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備		—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備		大型ポンプ車(泡混合機能付)、大型ポンプ車、 泡混合器、大型放水砲、 240時間 放射性物質吸着剤、 海水ピットシルトフェンス、取水ピットシルトフェンス、 放水ピットシルトフェンス、放水ピットテントシート、 雨水排水溝海洋シルトフェンス、小型船舶 240時間	
	重大事故等の取束に必要な水の供給設備	SAクラス2: < 1回 SAクラス3: < 2回	中型ポンプ車による補助給水 タンクへの補給系 240時間 燃料取替用水タンク水量 1時間 補助給水タンク水量 72時間	
	電源設備		非常用ガスタービン発電機からの電源系およびまたは 空冷式非常用発電装置からの電源系 240時間 300kVA電源車および300kVA電源車用変圧器からの電源系 720時間 蓄電池(非常用) 全系統同時 720時間 蓄電池(重大事故等対応用) 全系統同時 720時間 蓄電池(3系統目) 720時間 可搬型直流電源装置(75kVA電源車および可搬型整流器) からの電源系 720時間/系統 代替所内電気設備からの給電系 240時間 重油タンク油量 48時間 軽油タンク油量 72時間 ミニローリー 72時間/台 3台同時 48時間	

系統名	要求機能	保全活動管理措置目標値		備考
		予防可能故障回数(MPFF/回数) 目標値(1台/月あたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2台/月あたり)	
重大事故等対応設備	計装設備		可搬型計測器 所要数を満足できない状態 720時間	
	中央制御室		中央制御室非常用循環系 全系統同時 72時間 中央制御室用可搬型照明 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	
	監視測定設備		-	
	緊急時対策所	SAグラフ2: <1回 SAグラフ3: <2回	緊急時対策用発電機 240時間/台 緊急時対策所空気浄化系 全系統同時 240時間 緊急時対策所加圧装置 240時間 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	
	通信連絡を行うために必要な設備		240時間	
	中型ポンプ車		中型ポンプ車 720時間/台 3台以上同時 240時間	
	その他設備		240時間	

施設管理実施計画の変更内容

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	燃料取替クレーン3号 使用済燃料ピットクレーン3号 燃料取扱棟クレーン3号 燃料移送装置 (FH/B側) 燃料移送装置 (C/V側) 新燃料エレベータ 1次冷却材ポンプ 3B 原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却水設備]その他機器 一式 原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却海水設備]その他機器(海水配管含む) 一式 蒸気タービン附属設備 計測制御系統施設[制御棒駆動装置] その他機器 一式 ほう酸ポンプ3A ほう酸ポンプ3B 計測制御系統施設[ほう酸注入機能を有する設備]その他の弁 一式 ガス減衰タンク圧力制御弁 ほう酸回収装置給水ポンプ 3B 洗浄排水ポンプ 3B 強酸ドレンポンプ3号(電動機含む) 補助建屋サンプタンクポンプ3B セメント固化装置オフガスファン3A セメント固化装置オフガスファン3B 廃棄物処理室排気ファン3A 廃棄物処理室排気ファン3B 廃棄物処理室排気ファン3C セメント固化装置オフガスフィルタユニット3A セメント固化装置オフガスフィルタユニット3B 通常用エアロック 1個 非常用エアロック 1個 格納容器機器搬入口 1個 配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部) 一式 電気配線用貫通部 一式 原子炉格納容器隔離弁 一式 クラス1機器(供用期間中検査対象) 一式 (重大事故等クラス1,2機器供用期間中検査対象を含む) クラス2機器(供用期間中検査対象) 一式 (重大事故等クラス1,2機器供用期間中検査対象を含む) クラス1機器Ni基合金使用部位 一式 (重大事故等クラス1,2機器供用期間中検査対象を含む) クラス2管(原子炉格納容器内) 一式 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象を含む) 非常用ディーゼル機関3A 非常用ディーゼル機関3B その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[その他機器] その他機器 一式 消火ポンプ 3A電動機	記載の適正化	別紙2-8 別紙2-9 別紙2-12 別紙2-29 別紙2-30 別紙2-36 別紙2-41 別紙2-42 別紙2-44 別紙2-45 別紙2-46 別紙2-47 別紙2-48 別紙2-53 別紙2-54 別紙2-55 別紙2-56 別紙2-64 別紙2-68 別紙2-69 別紙2-70 別紙2-71

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
	消火系統機器(AM機能範囲)一式 可搬型排煙装置(中央制御室)電動機 貫通部止水処置	記載の適正化	別紙2-71 別紙2-72
2	原子炉冷却系統施設[原子炉補機冷却海水設備]その他の弁 一式	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、分解点検 (駆動部) の点検頻度を変更)	別紙2-30
3	第2低圧給水加熱器3A 第2低圧給水加熱器3B	点検頻度の見直し (不適合の是正処置として点検頻度を変更)	別紙2-35
4	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁 一式	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、分解点検 (弁本体) の点検頻度を変更)	別紙2-64
5	高圧及び低圧注入系 原子炉格納容器スプレイ系	炉規則の改正施行に伴う定期事業者検査の見直し	別紙2-21 別紙2-64

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	可搬型ガスサンフーラ 一式 可搬型気象観測設備 一式 重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対象)一式 空冷式非常用発電装置3号 空冷式非常用発電装置4号	記載の適正化	別紙2-77 別紙2-80 別紙2-81
2	イグナイタ 13台	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、機能・性能試験の点検頻度を変更)	別紙2-80
3	空冷式非常用発電装置3号 空冷式非常用発電装置4号	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、分解点検、分解点検(発電機)、機関取替の点検頻度を変更)	別紙2-81
4	非常用ガスタービン発電機 非常用ガスタービン発電機燃料油移送ポンプ 燃料油移送ポンプ 3号用電動機 非常用ガスタービン発電機燃料油サビタンク 非常用ガスタービン発電機燃料油貯油槽 非常用ガスタービン発電機制御盤 非常用ガスタービン発電機その他の機器 一式 蓄電池(3系統目) 蓄電池(3系統目) その他の機器 一式 非常用ガスタービン発電機建屋	運用開始に伴う追加	別紙2-81 別紙2-82 別紙2-85

3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	特定重大事故等対処施設を構成する設備 <一式>	特定重大事故等対処設備の運用開始に伴う追加	別紙2-86～ 別紙2-90

4. 点検計画 1, 2, 3号機共用設備

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備] その他の弁 一式 放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物処理設備] その他機器 一式 焼却炉建家排気ファン電動機 消火系統機器 (AM機能範囲) 一式	記載の適正化	別紙2-91 別紙2-92 別紙2-95
2	エリアモニタ 3台 プロセスモニタ 4台	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、検出器点検の点検頻度を変更)	別紙2-91

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉本体 [炉心]	照射済燃料集合体	※1一式 外観点検	G3	1C	2 燃料集合体外観検査	※1 炉心設計による ※2 燃料集合体の不具合により 計画	
		外観点検		1C	700 燃料集合体外観検査 ※2		
照射済燃料集合体(取出し燃料)	※一式 157体 48体 (1)制御棒クランク (2)ハーナルボイスン (3)アラキングアダプタ (4)2次中性子源	外観点検	G3	1C	81 燃料集合体内配置検査	※炉心設計による	
		外観点検	G3	1C	3 燃料集合体内配置検査	※炉心設計による	
		機能・性能試験	G3	1C	4 原子炉停止余裕検査	定検起動後	
		機能・性能試験	G3	1C	80 炉物理検査	定検起動後	
原子炉本体 [原子炉容器]	原子炉容器	開放点検	G1	13M			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取扱設備]	燃料取扱クレーン3号	機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	(潤滑油診断:2C)	
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C			
		機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査		
使用済燃料ピットクレーン3号	1台	機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フランク運転中	
		機能・性能試験	G3	1Y		フランク運転中	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	74 燃料取扱設備検査	フランク運転中	
燃料取扱クレーン3号	1台	機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フランク運転中	
		機能・性能試験	G3	1Y		フランク運転中	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	(潤滑油診断:2C)	
燃料移送装置(FH/B側)	1台	機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フランク運転中	
		機能・性能試験	G3	1C		フランク運転中	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		フランク運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
燃料移送装置(C/V側)	1台	機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	(潤滑油診断:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		
	1台	機能・性能試験	G3	1C	74 燃料取扱設備検査	フロント運転中 (潤滑油診断:2C)
		機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フロント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		フロント運転中
	燃料仮置ラック	外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
		外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フロント運転中
		外観点検	G3	1C		
	新燃料取扱工具	1台 外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	一部フロント運転中
1台 機能・性能試験		G3	1C		一部フロント運転中	
3台 外観点検		G3	1C		フロント運転中	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕 その他機器 一式 新燃料貯蔵庫(ラック)		機能・性能試験 他	G3	1C		
		外観点検	G3	1C		
	使用済燃料ピット浄化冷却設備	機能・性能試験	G3,G4	1C	75 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	使用済燃料ピットポンプ3A	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	使用済燃料ピットポンプ3B	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	使用済燃料ピット脱塩塔1/2/3A	開放点検	G4	130M		
		開放点検	G4	130M		
使用済燃料ピット脱塩塔1/2/3B	開放点検	G4	130M			
	開放点検	G4	130M			
使用済燃料ピット冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査		
	非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕	使用済燃料ピット冷却器3B	開放点検 非破壊試験	G3	195M 390M	91 1次系熱交換器検査	
	使用済燃料ピット冷却器3C	開放点検	G3	130M		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他の非一式	分解点検 他	G3,G4	144M~ 180M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	一部プラント運転中
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕 その他機器一式	単体調整試験 他	G4	13M		
	燃料取替用水タンクポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G3	10C 130M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)
	燃料取替用水タンクポンプ3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	燃料取替用水タンクポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G3	10C 130M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)
	燃料取替用水タンクポンプ3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他の非一式	分解点検 他	G3,G4	130M~ 156M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取替用水設備〕 その他機器一式	開放点検 他	G3	195M~ 390M		
原子炉冷却系統施設 〔一次冷却材の循環設備〕	蒸気発生器3A	開放点検(1次側マニホール) 増締め(1次側マニホール) 非破壊試験	G1	26M 13M 26M		
		開放点検(2次側マニホール)		65M	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マニホール)		39M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
蒸気発生器3B		開放点検(1次側マンホール)	G1	26M			
		増締め(1次側マンホール)		13M			
		非破壊試験		26M			6 蒸気発生器伝熱管体積検査 伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M			
		開放点検(2次側ハンドホール)		39M			
		開放点検(1次側マンホール)		26M			
		増締め(1次側マンホール)		13M			
		非破壊試験		26M			6 蒸気発生器伝熱管体積検査 伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M			
		開放点検(2次側ハンドホール)		39M			
加圧器安全弁3A	3V-RC-055	機能・性能試験	G3	1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
加圧器安全弁3B	3V-RC-056	機能・性能試験	G3	1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
加圧器安全弁3C	3V-RC-057	機能・性能試験	G3	1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検		13M	10 加圧器安全弁分解検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験		1C	8 加圧器安全弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		26M	13 加圧器速がし弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		26M	12 加圧器速がし弁漏えい検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器速がし弁漏えい検査		
加圧器速がし弁3A	3PCV-452A	機能・性能試験	G3	1C	11 加圧器速がし弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		26M	13 加圧器速がし弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		26M	12 加圧器速がし弁漏えい検査		
		漏えい試験		1C	9 加圧器速がし弁漏えい検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕			
	加圧器逃がし弁3B	3PCV-452B	G3	IC	機能・性能試験	11 加圧器逃がし弁機能検査			
		分解点検(弁本体)			13 加圧器逃がし弁分解検査				
		分解点検(駆動部)					12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
		漏えい試験							
	加圧器逃がし弁3A	3V-RC-054A	G3	IC		機能・性能試験	14 加圧器逃がし弁弁機能検査		
		分解点検(弁本体)			130M				
		分解点検(駆動部)				130M			
		分解点検(電動機)						195M	
	加圧器逃がし弁3B	3V-RC-054B	G3	IC	機能・性能試験	14 加圧器逃がし弁弁機能検査			
		分解点検(弁本体)			130M				
		分解点検(駆動部)					130M		
		分解点検(電動機)						195M	
	1次冷却材ポンプ3A		機能・性能試験	G1	IC	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部位検起動後		
			分解点検					130M	
軸封部点検			130M						
分解点検									90 1次冷却材ポンプカニカル分解検査
1次冷却材ポンプ3A電動機		分解点検	G1	39M	(振動診断:1M, 1C, 潤滑油診断:1C)				
		非破壊試験(フライホイール)					130M		
		機能・性能試験						92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部位検起動後
		分解点検							
1次冷却材ポンプ3B		機能・性能試験	G1	IC	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部位検起動後			
		分解点検					130M		
		軸封部点検						130M	
		分解点検							90 1次冷却材ポンプカニカル分解検査
1次冷却材ポンプ3B電動機		分解点検	G1	39M	(振動診断:1M, 1C, 潤滑油診断:1C)				
		軸封部点検					130M		
		分解点検						92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部位検起動後
		非破壊試験(フライホイール)							

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕		
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	1次冷却材ポンプ3C	機能・性能試験	G1	1C	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後		
		分解点検						
		軸封部点検	G1	13M	90 1次冷却材ポンプカニカル分解検査	一部プラント運転中		
		分解点検						
		非破壊試験(フライホイール)	G3	130M		(振動診断:1M、1C、潤滑油診断:1C)		
		開放点検						
		マンホール増締め	G3	13M				
		分解点検 他						
		原子炉冷却系統施設 〔1次冷却材の循環設備〕 その他の弁一式	3V-MS-521A	機能・性能試験	G3	13M～156M	84 1次系弁検査	
		分解点検 他						
		原子炉冷却系統施設 〔1次冷却材の循環設備〕 その他機器一式	3V-MS-521A	機能・性能試験	G3	13M～325M	34 安全保護系設定値確認検査 35 プラント状態監視設備機能検査	
		分解点検						
主蒸気安全弁3A1	3V-MS-521B	漏えい試験	G3	2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査			
		機能・性能試験						
主蒸気安全弁3B1	3V-MS-521C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査			
		分解点検						
主蒸気安全弁3C1	3V-MS-521C	漏えい試験	G3	2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査			
		機能・性能試験						
主蒸気安全弁3A2	3V-MS-522A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査			
		分解点検						
主蒸気安全弁3B2	3V-MS-522A	漏えい試験	G3	2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査			
		機能・性能試験						
主蒸気安全弁3C2	3V-MS-522A	漏えい試験	G3	2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査			
		機能・性能試験						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保重重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕				
主蒸気安全弁3B2	3V-MS-522B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査					
		分解点検		26M						
		漏えい試験		2C						
		主蒸気安全弁3C2		3V-MS-522C			機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査
							分解点検		26M	
							漏えい試験		2C	
主蒸気安全弁3A3	3V-MS-523A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査					
		分解点検		26M						
		漏えい試験		2C						
		主蒸気安全弁3B3		3V-MS-523B		機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
						分解点検		26M		
						漏えい試験		2C		
主蒸気安全弁3C3	3V-MS-523C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査					
		分解点検		26M						
		漏えい試験		2C						
		主蒸気安全弁3A4		3V-MS-524A		機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
						分解点検		26M		
						漏えい試験		2C		
主蒸気安全弁3B4	3V-MS-524B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査					
		分解点検		26M						
		漏えい試験		2C						
		主蒸気安全弁3B4		3V-MS-524B		機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
						分解点検		26M		
						漏えい試験		2C		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
主蒸気安全弁3C4	3V-MS-524C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M			
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	主蒸気安全弁3A5	3V-MS-525A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
			分解点検		26M		
			漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3B5	3V-MS-525B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
			分解点検		26M		
			漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
	主蒸気安全弁3C5	3V-MS-525C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
			分解点検		26M		
			漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気逃がし弁3A		3PCV-465	機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートンク熱輸送設備作動検査	一部プラント運転中
			分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	
			分解点検(駆動部)		52M		
			漏えい試験		1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
			機能・性能試験		1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートンク熱輸送設備作動検査	
			分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	
主蒸気逃がし弁3B		3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートンク熱輸送設備作動検査	一部プラント運転中
			分解点検(弁本体)		52M		
			分解点検(駆動部)		1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	主蒸気逃がし弁3C	3PCV-485 機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備動作検査	一部プラント運転中	
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査		
		分解点検(駆動部)		52M			
		漏えい試験		1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
	主蒸気隔離弁3A	3V-MS-528A	機能・性能試験	G3	1C	29 主蒸気隔離弁機能検査	
			分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査	
			分解点検(駆動部)		26M		
			機能・性能試験		1C	29 主蒸気隔離弁機能検査	
	主蒸気隔離弁3B	3V-MS-528B	機能・性能試験	G3	1C	29 主蒸気隔離弁機能検査	
			分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査	
分解点検(駆動部)			26M				
機能・性能試験			1C		29 主蒸気隔離弁機能検査		
主蒸気隔離弁3C	3V-MS-528C	機能・性能試験	G3	1C	29 主蒸気隔離弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査		
		分解点検(駆動部)		26M			
		機能・性能試験		1C	29 主蒸気隔離弁機能検査		
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の非一式	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他機器一式	分解点検 他	G3	13M~ 195M	122 2次系弁検査		
		単体調整試験 他		13M			
		機能・性能試験		G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)
		分解点検		130M	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
余熱除去ポンプ3A	余熱除去ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	12C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)	
		分解点検		156M			
		潤滑油入替		26M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕	
	余熱除去ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)	
		分解点検		130M	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		機能・性能試験		12C	83 1次系ポンプ機能検査		
	余熱除去ポンプ3B電動機		分解点検	G3	156M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)
			潤滑油入替		26M		
			分解点検(非本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			分解点検(電動機)		130M		
	ループ3C余熱除去系第2入口弁	3V-RH-002A	分解点検(非本体)	G3	195M		
			分解点検(電動機)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			分解点検(非本体)		130M		
分解点検(電動機)			130M				
分解点検(電動機)			195M				
ループ3B余熱除去系第2入口弁	3V-RH-002B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施	
		分解点検(非本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(電動機)		130M			
		分解点検(電動機)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
		分解点検(電動機)		195M			
余熱除去ポンプ3A再循環ポンプ.RWST側入口弁	3V-RH-024A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施	
		分解点検(非本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(電動機)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	余熱除去ポンプ3B再循環ポンプ.RWST側入口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体,電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去クーラー3A出口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体,電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去クーラー3B出口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体,電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
余熱除去ライナーループ3A低温側入口第2逆止弁	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M			
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			
余熱除去ライナーループ3B低温側入口第2逆止弁	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M			
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			
余熱除去ライナーループ3C低温側入口第2逆止弁	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M			
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			
余熱除去ライナーループ3A低温側入口第1逆止弁	分解点検	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	分解点検(弁本体)		130M			
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第1逆止弁	3V-RH-047B 分解点検	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
							余熱除去ラインループ3C低温側入口第1逆止弁
	余熱除去系出口連絡ライン弁3A	3V-RH-051A 分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
							余熱除去系出口連絡ライン弁3B
	余熱除去ラインループ3A高温側注入弁	3V-RH-052A 分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
							余熱除去ラインループ3B高温側注入弁
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(弁本体)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
	分解点検(駆動部)		130M				
	分解点検(弁本体)		130M				
	分解点検(電動機)		195M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
	余熱除去ラインループ3B高温側入口逆止弁	3V-RH-053A 分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	ループ3B余熱除去系第1入口弁	3PCV-420 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) 分解点検(電動機)	G3	130M 130M 195M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	ループ3C余熱除去系第1入口弁	3PCV-430 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) 分解点検(電動機)	G3	130M 130M 195M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
	余熱除去冷却器3A出口流量調整弁	3HCV-603 機能・性能試験 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	4C,8C 104M 52M	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施	
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
					20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
余熱除去冷却器3B出口流量調整弁	3HCV-613 機能・性能試験 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	4C,8C 104M 52M	84 1次系弁検査	弁本体, 駆動部の分解点検に合 わせて実施		
				20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査			
				20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保安重要度	保安方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
機器又は系統名	余熱除去ループ3A流量制御弁	3FCV-604	G3	4C,8C	84 1次系弁検査	弁本体,駆動部の分解点検に合 わせて実施
		機能・性能試験		104M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(弁本体)		52M		
機器又は系統名	余熱除去ループ3B流量制御弁	3FCV-614	G3	4C,8C	84 1次系弁検査	弁本体,駆動部の分解点検に合 わせて実施
		機能・性能試験		104M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(弁本体)		52M		
機器又は系統名	余熱除去冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
		分解点検(駆動部)		195M	91 1次系熱交換器検査	
機器又は系統名	余熱除去冷却器3B	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
		分解点検		195M	91 1次系熱交換器検査	
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	104M~ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
		単体調整試験 他		13M		
		開放点検		195M		
機器又は系統名	原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備] その他機器 一式	開放点検	G3	195M		
		単体調整試験 他		13M		
		機能・性能試験		1C	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査 147-運転中安全系ポンプの機能検査	
機器又は系統名	高圧及び低圧注入系 高圧及び低圧注入系	機能・性能試験(状態監視含む)	G3	6M		ポンプ運転中 [対策設備] ・高圧注入ポンプ3A,3B ・余熱除去ポンプ3A,3B
		開放点検		195M	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	
		分解点検		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	高圧注入ポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	高圧注入ポンプ3B	分解点検	G3	195M	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検	G3	130M		(振動診断:1M)
	高圧注入ポンプ3A入口弁 3V-SI-002A	分解点検(弁本体)	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
		分解点検(電動機)		156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ポンプ3B入口弁 3V-SI-002B	分解点検(弁本体)	G3	130M		
		分解点検(駆動部)		195M		
		分解点検(電動機)		10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		機能・性能試験		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ポンプ3A封水注入ライン止弁 3V-SI-026A	分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
		分解点検(電動機)		10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
		機能・性能試験		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ポンプ3B封水注入ライン止弁 3V-SI-026B	分解点検(弁本体)	G3	130M		
		分解点検(駆動部)		195M		
		分解点検(電動機)		130M		
分解点検(電動機)			156M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	高圧注入ライン隔離弁3A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体,電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ライン隔離弁3B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体,電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3A	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ポンプ出口連絡弁3B	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高温側高圧注入ライン止弁3A	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	高温側高圧注入ライン止弁3B	3V-SI-067B 分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	高圧注入ラインループ3A低温側第2逆止弁	3V-SI-072A 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-072B 分解点検		260M		
		3V-SI-072C 分解点検		260M		
	高圧注入ラインループ3A低温側第1逆止弁	3V-SI-075A 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-075B 分解点検		260M		
		3V-SI-075C 分解点検		260M		
	高圧注入ラインループ3B低温側第2逆止弁	3V-SI-079A 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-079B 分解点検		260M		
		3V-SI-079C 分解点検		260M		
	高圧注入ラインループ3C高温側第2逆止弁	3V-SI-079C 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
機器又は系統名	高压注入ラインB系ループ3C高温側第2逆止弁	3V-SI-079D 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高压注入ラインループ3A高温側第1逆止弁	3V-SI-082A 分解点検	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高压注入ラインループ3B高温側第1逆止弁	3V-SI-082B 分解点検	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	高压注入ラインループ3C高温側第1逆止弁	3V-SI-082C 分解点検	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	格納容器再循環サブ3A隔離弁	3V-SI-093A 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) 分解点検(電動機)	G3	156M 130M 195M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	格納容器再循環サブ3B隔離弁	3V-SI-093B 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) 分解点検(電動機)	G3	156M 130M 195M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高压注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧注入系	機能・性能試験	G3	1C	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
	蓄圧サブ3A出口弁	3V-SI-132A 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) 分解点検(電動機)	G3	130M 130M 195M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
				130M		
				195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
機器又は系統名	蓄圧タンク3B出口弁	3V-SI-132B 分解点検(弁本体)	G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	蓄圧タンク3C出口弁	3V-SI-132C 分解点検(弁本体)	G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第2逆止弁	3V-SI-134A 分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-134B 分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-134C 分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-136A 分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-136B 分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		3V-SI-136C 分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
蓄圧タンク3A	開放点検	G3	195M			
蓄圧タンク3B	開放点検	G3	195M			
蓄圧タンク3C	開放点検	G3	195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	格納容器再循環ポンプ3A	外観点検	G3	1C, 2C	89 1次系容器検査	
	格納容器再循環ポンプ3B	外観点検	G3	1C, 2C	89 1次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	78M~ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他AM弁一式	分解点検 他	G3	156M~ 208M	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他機器一式	分解点検 他	G2,G3	13M~ 195M		
	充てんポンプ冷却材補給系	機能・性能試験	G3	1C	69 充てんポンプ冷却材補給系機能検査 147 その他原子炉注水系統機能検査	
	充てんポンプ3A	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		13M		
	充てんポンプ3B	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		13M		
	充てんポンプ3C	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3C電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
	体積制御ポンク3号	開放点検	G3	195M		
冷却材70kg3号	開放点検	G3	130M			
非再生冷却器3号	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査		
	非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他機器一式	分解点検 他	G2~G4	13M~ 390M		
	原子炉補機冷却系	機能・性能試験	G3	1C	15 原子炉補機冷却系機能検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	原子炉補機冷却水ポンプ3B	分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	原子炉補機冷却水ポンプ3C	分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
原子炉補機冷却水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
	分解点検		130M			
	潤滑油入替		26M			
原子炉補機冷却水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)	
	分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕 (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	原子炉補機冷却水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水冷却器3A	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3B	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3C	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3D	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査	
原子炉補機冷却水サージタンク3号	開放点検	G3	195M			
	分解点検 他	G3,G4	52M~ 390M	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 87 1次系真空破壊弁検査		
	分解点検 他	G3	130M~ 156M	84 1次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他一式	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他AM弁一式	G2,G3	13M			
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他機器一式					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水 設備]	海水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	120 2次系ポンプ分解検査	
	海水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	海水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		8C	121 2次系ポンプ機能検査	
	海水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	104M		
		潤滑油入替		26M		
		機能・性能試験		2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	海水ポンプ3C	分解点検	G3	26M	120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検		104M		
	海水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	海水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M	120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		8C	121 2次系ポンプ機能検査	
	海水ポンプ3D電動機	分解点検	G3	104M		
		潤滑油入替		26M		
		機能・性能試験		2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁一式	分解点検 他	G3	26M~ 445M 260M	122 2次系弁検査	
分解点検		104M				
潤滑油入替		26M				
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他機器(海水配管含む)一式	分解点検 他	G3	26M~ 156M		一部点検実施	
	分解点検 他					

機器又はシステム名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の 一次冷却材の漏えいを 監視する装置〕	格納容器サブアッパ水位上昇測定装置及び 格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	G2	1C	78 格納容器サブアッパ水位上昇測定装置 漏えい格納容器内凝縮液量測定装置		
	高圧タービン	機能・性能試験	G1	1C	55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
		開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査		
		部分点検		26M			
	低圧第1タービン	機能・性能試験	G1	1C	55 総合負荷性能検査		
		開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査		
		部分点検		26M	128 蒸気タービン開放検査		
	低圧第2タービン	機能・性能試験	G1	1C	55 総合負荷性能検査		
		開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査		
		部分点検		26M	128 蒸気タービン開放検査		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔調速装置及び非常調 速装置並びに調速装 置で制御される主要弁〕	主蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
			開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査	
主蒸気止め弁3B		機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
		開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査		
主蒸気止め弁3C		機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
		開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査		
主蒸気止め弁3D		機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
		開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査		
蒸気加減弁 第1弁		機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
		開放点検		39M	128 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	蒸気加減弁 第2弁	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第3弁	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気加減弁 第4弁	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3B	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3C	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	再熱蒸気止め弁3D	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3A	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3B	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3C	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3D	機能・性能試験	G3	1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検			128 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [復水器]	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3, G4	1C	142 蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水器ホットワテ/3A	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホットワテ/3B	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3A	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3B	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3C	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3D	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水ポンプ3A	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	潤滑油入替	潤滑油入替		26M		
	復水ポンプ3B	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	潤滑油入替	潤滑油入替		26M		
	復水ポンプ3C	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
	潤滑油入替	潤滑油入替		26M		
	復水器真空ポンプ3A	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3A電動機	分解点検	G4	130M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B電動機	分解点検	G4	130M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
復水器過器3号	開放点検	G3	104M		124 2次系容器検査	
循環水ポンプ3A	分解点検	G3	39M		(潤滑油診断:1C)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 〕内は適用する 設備診断技術 〔 〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する 熱交換器〕	循環水ポンプ3A電動機	分解点検 潤滑油入替	G3	78M 39M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
	循環水ポンプ3B	分解点検	G3	39M		(潤滑油診断:1C)
	循環水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:6M)
	潤滑油入替			39M		
	復水器真空ポンプセパレータータンク3A逃がし弁 3V-BS-657A	機能・性能試験	G4	10C	123 2次系安全弁検査	
	分解点検			130M		
	漏えい試験			10C	123 2次系安全弁検査	
	復水器真空ポンプセパレータータンク3B逃がし弁 3V-BS-657B	機能・性能試験	G4	10C	123 2次系安全弁検査	
	分解点検			130M		
	漏えい試験			10C	123 2次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン(復水器) その他機器 一式	分解点検	G3	CBM		(振動診断:1C)復水器水室空気 抜ポンプ,復水器水室空気抜ポンプ 電動機)
	水分離加熱器3A	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	128 蒸気タービン開放検査	
	開放点検(GOV側蒸気室)			104M	128 蒸気タービン開放検査	
	開放点検(胴側蒸気室)			52M	128 蒸気タービン開放検査	
	非破壊試験			104M	128 蒸気タービン開放検査	
漏えい試験			8C	128 蒸気タービン開放検査		
水分離加熱器3B	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	128 蒸気タービン開放検査		
開放点検(GOV側蒸気室)			104M	128 蒸気タービン開放検査		
開放点検(胴側蒸気室)			52M	128 蒸気タービン開放検査		
非破壊試験			104M	128 蒸気タービン開放検査		
漏えい試験			8C	128 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
脱気器	脱気器3A	開放点検	G3	104M	124 2次系容器検査	
	脱気器3B	開放点検	G3	104M	124 2次系容器検査	
	脱気器7号	開放点検	G3	26M	124 2次系容器検査	
	グラント蒸気復水器3号	開放点検	G3	130M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		10C	125 2次系熱交換器検査	
	第1低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第1低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
脱気器	脱気器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
脱気器	脱気器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第3低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する 給水ポンプ及び貯水設 備並びに給水処理設 備]	第4低圧給水加熱器3A	開放点検 非破壊試験 漏えい試験	G3	52M 52M 4C	125 2次系熱交換器検査 125 2次系熱交換器検査 125 2次系熱交換器検査	
	第4低圧給水加熱器3B	開放点検 非破壊試験 漏えい試験	G3	52M 52M 4C	125 2次系熱交換器検査 125 2次系熱交換器検査 125 2次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の弁一式	分解点検 他	G4	52M~ 65M		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] その他の機器一式	開放点検 他	G4,G5	104M		一部BDMあり
	補助給水系	機能・性能試験	G3	1C	23 補助給水系機能検査	
	タービン動補助給水ポンプ3号	機能・性能試験	G3	10C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
		分解点検		130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	
	電動補助給水ポンプ3A	分解点検	G3	130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	電動補助給水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替		26M		
	電動補助給水ポンプ3B	分解点検	G3	130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	電動補助給水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替		26M		
	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3,G4	1C	142 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	復水ポンプ3A	分解点検	G4	117M		
	復水ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)
	復水ポンプ3B	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	復水ブーストポンプ3C	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	復水ブーストポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)
	給水ブーストポンプ3A	分解点検	G3	78M		
	給水ブーストポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		13M		
	給水ブーストポンプ3B	分解点検	G3	78M		
	給水ブーストポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		13M		
	給水ブーストポンプ3C	分解点検	G3	104M	120 2次系ポンプ分解検査	
	給水ブーストポンプ3C電動機	分解点検	G3	104M		(振動診断:6M, 潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替		52M		
	電動主給水ポンプ3号	分解点検	G3	130M	120 2次系ポンプ分解検査	(振動診断:6M, 潤滑油診断:1C)
		ロータ精密点検		260M	120 2次系ポンプ分解検査	
	電動主給水ポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:6M)
	タービン動主給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	6C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
		分解点検		78M		
	主給水ポンプタービン3A	機能・性能試験	G3	4C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	120 2次系ポンプ分解検査	
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3A	機能・性能試験	G3	1C	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M		
	タービン動主給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	6C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:3M)
		分解点検		78M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	主給水ポンプタービン3B	機能・性能試験	G3	4C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		52M	120 2次系ポンプ分解検査	
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3B	機能・性能試験	G3	1C	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検		52M		
	補助給水タンク3号	開放点検	G3	104M		
	第6高圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第6高圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	復水脱塩塔3A	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3B	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3C	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3D	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3E	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水 設備並びに給水処理設備] その他機器 一式	分解点検 他	G3,C4	13M~ 195M		(振動診断:1M[アモンゴ注入ポンプ 電動機,希トランジ注入ポンプ電動 機]) (振動診断:1C[濃ヒトランジ注入ポ ンプ電動機,予備薬注入ポンプ電動 機]) (振動診断:1C,潤滑油診断: 1C[蒸気発生器水強ポンプ]) (振動診断:1C,潤滑油診断: 2C[蒸気発生器水強ポンプ電動 機])

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 管等]	主な配管(主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽 気系統) 一式 2次系配管等※2(上記以外の主蒸気系統・ 再熱蒸気系統・抽気系統・復水系統・給水 系統・トリウム系統・その他の系統) 一式 ※2 配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む	開放点検(非破壊試験)	G3	※1	128 蒸気タービン開放検査	※1 2次系配管内厚検査計画に よる。	
		目視点検		1C	128 蒸気タービン開放検査		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン その他設備]	蒸気タービンおよびその附属設備 主蒸気タービン弁3A 3TCV-500A 主蒸気タービン弁3B 3TCV-500B 主蒸気タービン弁3C 3TCV-500C 主蒸気タービン弁3D 3TCV-500D	非破壊試験	G3	※1	126 2次系配管検査	※1 2次系配管内厚検査計画に よる。	
		外観点検		1C	126 2次系配管検査		
		開放点検 他	G3,G4	52M~ 104M			
		機能・性能試験	G1,G3	1C	55 総合負荷性能検査	定検起動後	
		機能・性能試験		1C	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検 査)	一部定検起動後	
		機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タービン弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	一部プラント運転中	
		分解点検(駆動部)		78M			
		機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タービン弁機能検査	一部プラント運転中	
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査		
分解点検(駆動部)		78M					
		機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タービン弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	一部プラント運転中	
		分解点検(駆動部)		78M			
		クランドハッチ取替		13M			
		機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タービン弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	一部プラント運転中	
		分解点検(駆動部)		78M			
		クランドハッチ取替		13M			
		機能・性能試験	G3	1C	61 主蒸気タービン弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	一部プラント運転中	
分解点検(駆動部)		78M					
クランドハッチ取替		13M					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕		
機器又は系統名	主蒸気タンク弁3E	3TCV-500E	G3	1C	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中		
		機能・性能試験		52M	122 2次系弁検査			
		分解点検(弁本体)		78M				
	主蒸気タンク弁3F	3TCV-500F	分解点検(駆動部)	G3	78M	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中	
			クアントハッポン取替		13M			
			機能・性能試験		1C			
			分解点検(弁本体)		52M			
	主蒸気タンク弁3G	3TCV-500G	分解点検(駆動部)	G3	78M	122 2次系弁検査		
			分解点検(駆動部)		78M			
			クアントハッポン取替		13M			
			機能・性能試験		1C			
			分解点検(弁本体)		52M			
主蒸気タンク弁3H	3TCV-500H	分解点検(駆動部)	G3	78M	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中		
		分解点検(駆動部)		78M				
		クアントハッポン取替		13M				
		機能・性能試験		1C				
		分解点検(弁本体)		52M				
		分解点検(駆動部)		78M				
計測制御系統施設 [制御材]	原子炉冷却系統施設 蒸気クーリン [その他設備] その他の弁 一式	48体	G3,G4	13M~ 390M	122 2次系弁検査 123 2次系安全弁検査	一部アラート運転中		
				機能・性能試験	13M~ 260M			
				分解点検 他				
	原子炉冷却系統施設 蒸気クーリン [その他設備] その他機器 一式	48体	G2~G4	G2~G4	13M~ 260M		(クーニング)油ポンプ電動機 振動診 断:6M 他)	
					機能・性能試験			
					分解点検 他			
	制御棒ガス 制御棒ガス ハニープルボイス アラキソクテハイス 2次中性子源	48体 ※一式 ※一式 ※一式	G2	G3	1C	106 制御棒ガス動作検査	※ 炉心設計による	
					機能・性能試験			
					外観点検			
	107 制御棒ガス検査	1C						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕	制御棒駆動系	48本 機能・性能試験 機能・性能試験	G2	1C 1C	30 制御棒駆動系機能検査 106 制御棒クワ動作検査		
	制御棒駆動用電源M-Gセット3A 発電機	分解点検 潤滑油入替	G3	39M 26M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)	
	制御棒駆動用電源M-Gセット3A 電動機	分解点検	G3	39M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	制御棒駆動用電源M-Gセット3B 発電機	分解点検 潤滑油入替	G3	39M 26M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)	
	制御棒駆動用電源M-Gセット3B 電動機	分解点検	G3	39M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	計測制御系統施設 〔制御棒駆動装置〕 その他機器一式、 ほう酸ポンプ3A		特性試験 他	G3	13M~ 52M		
			機能・性能試験	G3	1C	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
			分解点検	G3	156M	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
			メカニカルシール取替		78M 156M		
	ほう酸ポンプ3A電動機		分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
ほう酸ポンプ3B		機能・性能試験	G3	1C	31-2 ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
		分解点検	G3	156M	31-1 ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
		メカニカルシール取替		78M 156M			
ほう酸ポンプ3B電動機		分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)	
1次系補給水ポンプ3A		機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
	分解点検	G3	130M				
1次系補給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)		
	分解点検	G3	78M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕
機器又は系統名	1次系補給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
		分解点検		130M		
	1次系補給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M)
		分解点検		78M		
	ほう酸タンク3A	開放点検	G3	195M		
		開放点検	G3	195M		
	1次系純水タンク3号	開放点検	G3	195M		
		開放点検	G3	130M		
	計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3, G4	43M 26M~ 195M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破断弁検査	
		漏えい試験	G3	10YP		
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	制御用空気圧縮機3A	機能・性能試験	G2	1C	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		部分点検		13M		
	制御用空気圧縮機3A電動機	分解点検		26M		
		分解点検	G3	130M		(振動診断: 1M)
	制御用空気圧縮機3B	機能・性能試験	G2	1C	32 制御用空気圧縮系機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		部分点検		13M		
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	制御用空気圧縮機3B電動機	分解点検	G3	26M		
		分解点検	G3	130M		(振動診断: 1M)
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3, G4	13M~ 312M	85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査	
		分解点検 他	G2, G3	13M~ 52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
計測制御系統施設 〔その他設備〕	1.原子炉保護系ロック回路 27回路 34回路	機能・性能試験	G2	1C	33 安全保護系機能検査	
	2.安全保護系ロック回路 特性試験		G1~G4	13M	34 安全保護系設定値確認検査	
	1.原子炉トリップ,工学的安全施設の始動,原 子炉格納容器隔離等を行ったためのすべて の伝送器,設定器及び保護継電器 (1)1次格納材等計測装置 伝送器 55個 設定器(保護継電器含む) 132個 (2)核計装装置 設定器 20個	機能・性能試験 他	G2,G4	13M	35 フラント状態監視設備機能検査	
	2.重要な指示計器 (1)1次格納材等計測装置 中央指示計 16個 現場指示計 9個 現場記録計 4個 (2)核計装装置 中央指示計 8個 現場記録計 1個					
	事故時監視計器 7個 圧力監視計器 20個 水位監視計器 9個 流量監視計器 10個	機能・性能試験	G3	13M	35 フラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台	機能・性能試験	G2,G3	1C	71 計測制御系機能検査	
	1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 一式	機能・性能試験 他	G1~G4	12M~ 104M	72 計測制御系監視機能検査	一部フラント運転中
	1.1次系計測制御装置 2.2次系計測制御装置 一式					
	炉外核計装装置 1.線源領域計測装置 2.中間領域計測装置 3.出力領域計測装置 2台 2台 4台	機能・性能試験	G1,G2	13M~ 26M	105 核計装設備検査	一部起動後
	炉内核計装装置 一式	機能・性能試験	G2	1C	105 核計装設備検査	
	制御棒位置指示装置 48個	機能・性能試験	G2	13M	108 制御棒位置指示装置設定値検査	
	HSシンプルチェーン 50本	非破壊試験	G3	78M	109 炉内計装用シンプルチェーン体積検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
計測制御系統施設 〔発電用原子炉の運転 を管理するための制御 装置〕	ハミングアップ回路 1.原子炉保護系ロッキング関連 2.安全保護系ロッキング関連 総合インターロック 1.原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ 検査 2.タービントリップによる原子炉、発電機トリップ 検査 3.発電機トリップによる原子炉、タービントリップ 検査 一式 計測制御系統施設 その他機器一式	機能・性能試験 5回路 2回路 機能・性能試験	G2 G1~G3	1C 1C	110 安全保護系機能検査(ハミングアップ ロッキング検査) 112 総合インターロック検査	
	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路	機能・性能試験 他	G1~G5	12M~ 169M		一部フロント運転中 一部BDMあり
	放射線廃棄物の廃棄 施設〔気体、液体又は 固体廃棄物貯蔵設備〕 一式	開放点検	G3,G5	216M		フロント運転中 一部BDMあり
	放射線廃棄物の廃棄 施設〔気体、液体又は 固体廃棄物貯蔵設備〕	2台 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	1C 78M~ 156M	42 気体廃棄物処理系機能検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
	ガス圧縮装置	2台 分解点検	G4	130M		
	水素再結合ガス圧縮装置	1台 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	1C	42 気体廃棄物処理系機能検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
	水素ガス圧縮装置電動機	1台 分解点検	G4	104M~ 208M 130M		(振動診断:1C)
	水素再結合装置	1台 機能・性能試験	G4	1C	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	ガス減圧クランプ制御弁	6台 機能・性能試験(駆動部含む) 機能・性能試験(駆動部含む) 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	52M~ 144M 144M 12Y 52M	42 気体廃棄物処理系機能検査 84 1次系弁検査	
	1基 1.5硝酸回収装置	1基 機能・性能試験	G4	2Y	64 液体廃棄物処理系機能検査	フロント運転中
2基 原液蒸発装置	2基 機能・性能試験	G4	2Y	64 液体廃棄物処理系機能検査	フロント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕	
	ガス圧縮装置3A気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査		
	ガス圧縮装置3B気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査		
	水素再結合ガス圧縮装置気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査		
	水素再結合装置破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査		
	モーターポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)	
	モーターポンプ3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)	
	モーターポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)	
	モーターポンプ3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)	
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)	
	ほう酸回収装置給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)	
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C) 分解未実施	
	ほう酸回収装置給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)	
	廃液蒸留水ポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	廃液蒸留水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液蒸留水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液蒸留水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モニタポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モニタポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モニタポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モニタポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	強酸ポンプ3号(電動機含む)	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (ヘアリングモニタにより監視) 分解未実施
		分解点検				
	格納容器冷却材ポンプ3A	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検				
	格納容器冷却材ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検				
	格納容器冷却材ポンプ3B	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検				
	格納容器冷却材ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検				
	格納容器サブポンプ3A	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検				
	格納容器サブポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替				
	格納容器サブポンプ3B	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検				
	格納容器サブポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替				
	補助建屋サブタンクポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検				
	補助建屋サブタンクポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
放射線廃棄物の廃棄施設[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	補助建屋サブタンクポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		分解未実施
	補助建屋サブタンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置	機能・性能試験	G4	2Y	115 固体廃棄物処理系セメント固化装置機能検査	フロント運転中
		分解点検 他	G3,G4	52M~ 195M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 85 1次系安全弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	一部フロント運転中
	放射性廃棄物の廃棄施設 [気体, 液体又は固体廃棄物処理設備] その他の弁 一式	開放点検 他	G3~G5	12M~ 444M		一部フロント運転中 一部BDDMあり
		機能・性能試験 他	G4	5Y	68 流体の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 72 計測制御系監視機能検査	フロント運転中
	液体廃棄物貯蔵設備および処理設備の漏えい防止に係わる警報装置 一式	機能・性能試験	G4	52M~ 60M	118 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	一部フロント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	格納容器高圧モニタ	4個 特性試験	G2	13M	63-2 エリアモニタ機能検査	
	1.エリアモニタ 2.プロセッサモニタ	15台 22台 5台 特性試験	G2~G4	13M	76 放射線監視装置機能検査	
	モニタリングシステム専用 無線伝送装置	機能・性能試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	77年小運転中または定検停止中
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器一式	単体調整試験 他	G2,G3	13M~ 65M		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	G3,G4	1C	40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	中央制御室再循環ファン3A	機能・性能試験 分解点検	G3	- 156M		
	中央制御室再循環ファン3A電動機	機能・性能試験	G3	6C		(振動診断:1M)
	中央制御室再循環ファン3B	機能・性能試験 分解点検	G3	78M		
	中央制御室再循環ファン3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	- 156M		(振動診断:1M)
	中央制御室空調ファン3A	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
放射線管理施設 [換気設備]	中央制御室空調ファン3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	- 195M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	中央制御室空調ファン3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	中央制御室空調ファン3B	機能・性能試験 分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	中央制御室空調ファン3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	- 195M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	中央制御室空調ファン3E電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	中央制御室空調ファン3E電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内には適用する 設備診断技術〕
	中央制御室非常用給気ファン3A	分解点検	G3	390M		(振動診断:1M)
	中央制御室非常用給気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	中央制御室非常用給気ファン3B	分解点検	G3	390M		(振動診断:1M)
	中央制御室非常用給気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	中央制御室空調ユニット3A	開放点検	G3	78M		
	中央制御室空調ユニット3B	開放点検	G3	78M		
	中央制御室非常用給気ファンユニット3号	機能・性能試験(よう素除去効 率)	G3	1C	41 中央制御室非常用循環系ファン性能検査	
		機能・性能試験(備えい・率)		1C	41 中央制御室非常用循環系ファン性能検査	
		機能・性能試験		-		
		開放点検		390M		
	格納容器給気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		フロント運転中
	格納容器給気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		フロント運転中
	格納容器排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		
	格納容器排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		フロント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
	格納容器排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)	
		分解点検					CBM
	格納容器排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)	
		分解点検					CBM
	格納容器再循環ファン3A	分解点検	G4	156M			
		分解点検					
	格納容器再循環ファン3A電動機	分解点検	G4	156M			(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検					
	格納容器再循環ファン3B	分解点検	G4	52M			(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検					
	格納容器再循環ファン3B電動機	分解点検	G4	52M			(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検					
	格納容器再循環ファン3C	分解点検	G4	52M			(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検					
	格納容器再循環ファン3C電動機	分解点検	G4	52M			(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検					
	格納容器再循環ファン3D	分解点検	G4	52M			(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検					
	格納容器再循環ファン3D電動機	分解点検	G4	52M			(振動診断:1M, 潤滑油診断:1C)
		分解点検					
格納容器空気浄化ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (電動機の振動により解析)		
	分解点検						CBM
格納容器空気浄化ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)		
	分解点検						CBM
格納容器空気浄化ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (電動機の振動により解析)		
	分解点検						CBM
格納容器空気浄化ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)		
	分解点検						CBM
補助建屋給気ファン3A	機能・性能試験	G4	22Y	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)	フロント運転中	
	分解点検						22Y

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	補助建屋給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	補助建屋給気ファン3B	機能・性能試験	G4	22Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検				
	補助建屋給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	補助建屋排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M)
		分解点検				
	補助建屋排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	補助建屋排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M)
		分解点検				
	補助建屋排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	補助建屋排気ファン3C	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M)
		分解点検				
	補助建屋排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	燃料取扱建屋空空气净化系	機能・性能試験	G3	1C	77 1次系換気空調設備検査	
		分解点検				
	放射線管理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検				
	放射線管理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	放射線管理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検				
	放射線管理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	放射線管理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	放射線管理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	放射線管理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	放射線管理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検				
	ヘイ排気ファン3号	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析)
		分解点検				
	ヘイ排気ファン3号電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1Y)
		分解点検				
	セント固化装置オガスファン3A	機能・性能試験	G4	5Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検				
	セント固化装置オガスファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検				
	セント固化装置オガスファン3B	機能・性能試験	G4	5Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	セメント固化装置アガスア3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		7Y		
	廃棄物処理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		ファン運転中
	廃棄物処理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		7Y		ファン運転中
	廃棄物処理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		ファン運転中
	廃棄物処理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		ファン運転中
	廃棄物処理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		CBM		ファン運転中
	廃棄物処理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3C	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		ファン運転中
	廃棄物処理室排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	換気空調設備のその他のファン一式	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		ファン運転中
	格納容器給気ユニット3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		ファン運転中
	格納容器給気ユニット3B	機能・性能試験	G3,G4	12M~ 260M		一部ファン運転中
		分解点検		7Y		ファン運転中
		開放点検	G4	7Y		ファン運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	格納容器排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y		プラント運転中
	格納容器排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		開放点検		18Y		プラント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Aバンク側)	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
		開放点検	G4	7Y		プラント運転中
	補助建屋排気フィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室排気ユニット3号	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
		機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室排気フィルタユニット3B	機能・性能試験	G3	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施
	ヘイラ排気フィルタユニット3号	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Aバンク側)	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施
		機能・性能試験	G3	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施
	廃棄物処理室排気フィルタユニット3号(Bバンク側)	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	格納容器空気浄化フィルタユニット3号	機能・性能試験	G4	15C	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		195M		
	セメント固化装置オプガスフィルタユニット3A	機能・性能試験	G4	5Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験	G4	5Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	中央制御室	漏えい試験	-高	6YP	139 中央制御室の居住性確認検査	
		外観点検(貫通部)		1C		
	タンクバンクハローケ、防火タンク、手動タンク ハ合む)一式	機能・性能試験	G3,G4	13M~ 264M	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	放射線管理施設 〔換気設備〕 その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M~ 195M	85 1次系安全弁検査	一部アラート運転中
	放射線管理施設 〔換気設備〕 その他AM弁 一式	分解点検	G3	195M		
	放射線管理施設 〔換気設備〕 その他機器 一式	分解点検 他	G2~G4	12M~ 300M		一部アラート運転中
	原子炉格納容器	漏えい率試験	G3	3C	43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	通常用エアロック	漏えい率試験 開放点検 部分点検	G3	2C ₁ ,3C 130M 1C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	非常用エアロック	漏えい率試験	G3	2C ₁ ,3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	格納容器機器搬入口	開放点検 部分点検		130M 1C		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管 フランジ部) 一式	漏えい率試験	G3	2C ₁ ,3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	電気配線用貫通部 一式	開放点検		13M		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管 フランジ部)及び電気配線用貫通部 一式	漏えい率試験	G3	2C ₁ ,3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
原子炉格納容器隔離弁 一式	漏えい率試験	G3	2C ₁ ,3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
格納容器隔離(T-V信号及びT+UV信号)に より隔離される弁	開放点検	G3	13M~ 104M			
格納容器隔離(P-V信号)により隔離される 弁	漏えい率試験	G3	2C ₁ ,3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査		
格納容器希釈材ポンプ出口ライノ第1隔 離弁3号	機能・性能試験	G3	1C	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	機能・性能試験	G3	1C	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		52M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
SG-3A7 SG-3B7 SG-3C7 SG-3A7 SG-3B7 SG-3C7 C/V C/V C/V	3V-BD-009A	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-BD-009B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-BD-009C	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-BD-030A	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-BD-030B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-BD-030C	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-189A	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	156M 130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-189B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	156M 130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-189A	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	156M 130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-189B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	156M 130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-198A	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	156M 130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3V-CC-198B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	156M 130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
C/V再循環ユニット3B冷却水出口隔離弁	3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-CC-198D	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
CRDMおよび余剰抽出クワ冷却水入口隔離弁3号	3V-CC-342	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-CC-349	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
RCP冷却水入口第2隔離弁3号	3V-CC-401	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-CC-403	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
RCPP冷却水出口第1隔離弁3号	3V-CC-427	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
	RCPP冷却水出口第2隔離弁3号	3V-CC-429	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M		
			分解点検(電動機)		195M		
	DRP(冷却ユニット)3号入口隔離弁	3V-CH-404	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M		
			グランドハンギン取替		52M		
	DRP(冷却ユニット)3号出口隔離弁	3V-CH-410	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M		
			分解点検(弁本体)		52M		
抽出オリフィス隔離弁3A	3V-CS-004A	分解点検(駆動部)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		52M			
		分解点検(電動機)		78M			
抽出オリフィス隔離弁3B	3V-CS-004B	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M			
		分解点検(弁本体)		52M			
抽出オリフィス隔離弁3C	3V-CS-004C	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M			
		分解点検(弁本体)		52M			
抽出オリフィス隔離弁3号	3V-CS-007	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M			
		グランドハンギン取替		52M			
封水戻りライン第1隔離弁3号	3V-CS-213	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕	
封水戻りライン第2隔離弁3号	3V-CS-214	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
	格納容器減圧装置第1隔離弁3号	3V-DP-001	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		52M		
			分解点検(弁本体)		130M		
	格納容器減圧装置第2隔離弁3号	3V-DP-002	分解点検(弁本体)	G3	52M		
			分解点検(駆動部)		104M		
			分解点検(弁本体)		52M		
	消火系格納容器隔離弁3号	3V-FS-503	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M		
			分解点検(電動機)		195M		
クランクハンギン取替			52M				
制御用空気供給ヘッダ3A格納容器隔離弁	3V-IA-508A	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
制御用空気供給ヘッダ3B格納容器隔離弁	3V-IA-508B	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
炉内核計装装置ガスモニターライン第2隔離弁3号	3V-IG-008	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M			
		分解点検(電動機)		130M			
炉内核計装装置ガスモニターライン第1隔離弁3号	3V-IG-009	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M			
		分解点検(電動機)		130M			
加圧器逃がしタンクガス分析ライン第1隔離弁3号	3V-RC-077	分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M			
		分解点検(電動機)		104M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内には適用する 設備診断技術〕	
	加圧器逃がしタンクガス分析ライン第2隔離弁3号	3V-RC-078	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		104M			
	加圧器逃がしタンク窒素隔離弁3号	3V-RC-084	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
			クアントハットン取替		52M		
	加圧器逃がしタンク補給水隔離弁3号	3V-RC-095	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		78M		
			クアントハットン取替		52M		
	格納容器空気モニタリング第1隔離弁3号	3V-RM-001	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M		
			分解点検(電動機)		195M		
	格納容器空気モニタリング第2隔離弁3号	3V-RM-002	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器空気モニタリング戻り隔離弁3号	3V-RM-018	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
	安全注入テストライン第1戻り弁3号	3V-SI-144	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
			クアントハットン取替		52M		
	蓄圧タンク補給ライン隔離弁3号	3V-SI-145	分解点検	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
安全注入テストライン第2戻り弁3号	3V-SI-147	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 〕内は適用する 設備診断技術
	蓄圧タンク窒素隔離弁3号	3V-SI-165	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)		78M		
	加圧器気相部サブリング隔離弁3号	3V-SS-503	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
				分解点検(駆動部)		
	加圧器液相部サブリング隔離弁3号	3V-SS-523	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
				分解点検(駆動部)		
	A-プ3A高温側および加圧器サブリング隔 離弁	3V-SS-524	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
				分解点検(駆動部)		
	A-プ3A高温側サブリング隔離弁	3V-SS-543A	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
				分解点検(駆動部)		
	A-プ3B高温側サブリング第1隔離弁	3V-SS-543B	G3	195M		
				分解点検(電動機)		
A-プ3B高温側サブリング第2隔離弁	3V-SS-544	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			分解点検(駆動部)			130M
蓄圧タンク3Aサブリング隔離弁	3V-SS-563A	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			分解点検(駆動部)			78M
蓄圧タンク3Bサブリング隔離弁	3V-SS-563B	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			分解点検(駆動部)			78M
蓄圧タンク3Cサブリング隔離弁	3V-SS-563C	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			分解点検(駆動部)			78M

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	蓄圧タンク(ブリアック) 隔離弁3号	3V-SS-564	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)				
	格納容器真空逃がし装置3A 隔離弁	3V-VR-001A	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)				
	格納容器真空逃がし装置3B 隔離弁	3V-VR-001B	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(弁本体)				
	格納容器真空逃がし弁3A	3V-VR-003A	機能・性能試験	52M	47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能 検査	
				130M		
	格納容器真空逃がし弁3B	3V-VR-003B	機能・性能試験	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
				156M		
	格納容器冷却材ポンプ出口ライン第2隔 離弁3号	3V-WL-032	分解点検(弁本体)	1C	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
				156M		
格納容器冷却材ポンプライン第1 隔離弁3号	3V-WL-078	分解点検(駆動部)	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			156M			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
格納容器冷却材ポンプライン第2 隔離弁3号	3V-WL-079	分解点検(弁本体)	G3	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			104M			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
格納容器冷却材ポンプライン第1隔 離弁3号	3V-WL-084	分解点検(駆動部)	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			104M			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
格納容器冷却材ポンプライン第2隔 離弁3号	3V-WL-085	分解点検(弁本体)	G3	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			52M			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		分解点検(駆動部)	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
			104M			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他 の安全設備]	格納容器冷却材トランクタンク窒素隔離弁3号	3V-WL-090 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	130M 104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	格納容器サブポンプ出口第1隔離弁3号	3V-WL-124 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	130M 52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	格納容器サブポンプ出口第2隔離弁3号	3V-WL-125 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	130M 52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他の弁一式	分解点検 他	G3	13M~ 208, 390M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	[対象設備] ・アニュウズール
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他機器一式	開放点検	G3	1C		
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他機器一式	機能・性能試験	G3	1C	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
	原子炉格納施設[原子炉格納容器] その他機器一式	機能・性能試験(非絶縁混合 む)	G3	644	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・格納容器スレーホンプ3A,3B
	格納容器スレーホイル冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレーホイル冷却器3B	非破壊試験	G3	390M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレーホイル冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレーホイル冷却器3A	非破壊試験	G3	390M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スレーホイル冷却器3A	分解点検	G3	195M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	格納容器スレーホイル冷却器3A	分解点検 潤滑油入替	G3	130M 26M		(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)
	格納容器スレーホイル冷却器3B	分解点検	G3	195M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解 検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕 (振動診断:1M, 潤滑油診断:2C)	
	格納容器スプレッドポンプ3B電動機	分解点検	C3	130M			
		潤滑油入替		26M			
	よう薬除去薬品タンク3号	開放点検	C3	390M	89 1次系容器検査		
		格納容器スプレッドポンプ3A入口弁		3V-CP-001A	3V-CP-001A	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	格納容器スプレッドポンプ3B入口弁	分解点検(駆動部)	C3	130M			
		分解点検(電動機)		195M			
		3V-CP-001B		156M			50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査
		分解点検(駆動部)		130M			
	格納容器スプレッドポンプ3A出口弁	分解点検(電動機)	C3	195M			
		3V-CP-021A		156M			50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査
	格納容器スプレッドポンプ3B出口弁	分解点検(駆動部)	C3	130M			
		分解点検(電動機)		195M			
		3V-CP-021B		156M			50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査
		分解点検(駆動部)		130M			
	よう薬除去薬品タンク出口第1弁3A	分解点検(駆動部)	C3	195M			
		3V-CP-054A		156M			50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査
		分解点検(電動機)		130M			
				195M			
			156M				
			130M				
			195M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	よう薬除去薬品タンク出口第1弁3B	3V-CP-054B	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		130M			
		分解点検(駆動部)		195M			
	原子炉格納施設(圧力低減設備その他の安全設備)その他の弁一式	原子炉格納施設(圧力低減設備その他の安全設備)その他のAM弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M~390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破裂弁検査	
			分解点検	G3	130M	86 1次系逆止弁検査	
			開放点検	G3	78M	77 1次系換気空調設備検査	
			開放点検	G3	78M	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュラス循環排気系	アニュラス排気ファン3A	機能・性能試験	G3	1C	38 アニュラス循環排気系機能検査	(振動診断:1M)
			分解点検	G3	260M		(振動診断:1M)
			分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
			分解点検	G3	260M		(振動診断:1M)
			分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
			機能・性能試験(上ろ薬除去効率)	G3	1C	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
			機能・性能試験(漏えい率)		1C	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
			機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	
			機能・性能試験(上ろ薬除去効率)	G3	1C	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
			機能・性能試験(漏えい率)		1C	39 アニュラス循環排気系ファン性能検査	
	アニュラス排気ファン3B	アニュラス排気ファン3B	機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	
			機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	
			機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	
アニュラス排気ファン3A	アニュラス排気ファン3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	7.ニューラス排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	7.ニューラス全量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	7.ニューラス全量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	7.ニューラス少量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	7.ニューラス少量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	7.ニューラス戻り弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	7.ニューラス戻り弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	安全補機室空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	77 1次系換気空調設備検査	
		分解点検		260M		
	安全補機室排気ファン3A	分解点検	G3	156M	(振動診断:6M)	
		分解点検		260M		
	安全補機室排気ファン3B	分解点検	G3	156M	(振動診断:6M)	
		分解点検		260M		
	安全補機室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G3	20C	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		260M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉施設 [その他設備]	タンク(タンクホールドを含む) 一式	機能・性能試験	G3	13M～ 144M	77 1次系換気空調設備検査	一部フランク運転中
	原子炉格納施設(圧力低減設備その他の 安全設備) その他機器 一式	開放点検 他	G3	390M	89 1次系容器検査	[対象設備] ・PH調整利貯蔵タンク
原子炉施設 [その他設備]	ガス1機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G1, G3	10YP	1 ガス1機器供用期間中検査	
	(重大事故等ガス1,2機器供用期間中検査 対象を含む)	漏えい試験		1C	144 重大事故等ガス2機器供用期間中 検査	
	ガス2機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	5 ガス2機器供用期間中検査	
	(重大事故等ガス1,2機器供用期間中検査 対象を含む)	漏えい試験		10YP	144 重大事故等ガス2機器供用期間中 検査	
	ガス3機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	104 ガス3機器供用期間中検査	一部フランク運転中
		漏えい試験		10YP		
	ガス1機器Ni基金合金使用部位 一式 (重大事故等ガス1,2機器供用期間中検査 対象を含む)	非破壊試験	G3	5YP～ 10YP	98 供用期間中特別検査のうちガス1機 器Ni基金合金使用部位特別検査 144 重大事故等ガス2機器供用期間中 検査	
	ガス2管(原子炉格納容器内) 一式 (重大事故等ガス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	98 供用期間中特別検査のうちガス2管 (原子炉格納容器内)特別検査 144 重大事故等ガス2機器供用期間中 検査	
	ガスMPC容器(供用期間中検査対象)機器搬 入口の圧力保持用ホルト締付け部(ホルト、フッ ト、ワッシャー、フランジ) 一式 (重大事故等ガス2機器供用期間中検査対 象を含む)	非破壊試験	G3	10YP	79 原子炉格納容器供用期間中検査	
	レストレイト 一式	外観点検	G3	10YP	113 レストレイト検査	
原子炉施設[その他設備] その他AM弁 一式	ガス2機器及びガス3機器(供用期間中検査 対象外)、ガス4管の耐圧部並びに排気筒 一式	外観点検	G3	10YP	103 構造健全性検査	格納容器排気筒、補助建屋排気 筒は5年検で100%検査 一部フランク運転中
	原子炉施設[その他設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3, G4	52M～ 260M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉施設[その他設備] その他機器 一式	分解点検	G3	156M		
耐震ガス, Bに属する支持構造物 一式		機能・性能試験	G3	12M～ 13M		フランク運転中
		外観点検	G1～G3	10YP	102 耐震健全性検査	ガス1, 2, 3機器供用期間中検査対 象機器を除く

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) 〔非常用発電装置〕	ディーゼル発電機	2台	G3	1C	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査) 53-2 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査)	
	安全注入信号および格納容器スレィ信号 発信時に非常用ディーゼル発電機に電源を 求める機器	48台	G2~G4	1C	53-1 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)	
	非常用ディーゼル発電機3A	分解点検	G3	52M		(振動診断:6M)
	非常用ディーゼル発電機3B	分解点検	G3	52M		(振動診断:6M)
	非常用ディーゼル機関3A	外観点検	G3	13M 1C	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C, 赤外線診断: 1C, 振動診断:6M, ディーゼル機 関診断:6M)
		非常調速装置試験		13M 1C	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		13M 1C	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関A号機シリンダ(ピストン、連接棒、 シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃 料噴射弁)	分解点検	G3	13M~ 104M	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	非常用ディーゼル機関3B	外観点検	G3	13M 1C	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C, 赤外線診断: 1C, 振動診断:6M, ディーゼル機 関診断:6M)
		非常調速装置試験		13M 1C	133 非常用予備発電機付属設備検査	
		計測装置試験		13M 1C	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	ディーゼル機関B号機シリンダ(ピストン、連接棒、 シリンダカバー、クランク軸、吸気弁、排気弁、燃 料噴射弁)	分解点検	G3	13M~ 104M	54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
	重油タンクA	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	
	重油タンクB	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	
	重油タンクC	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	
ディーゼル発電機附属設備一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 260M	133 非常用予備発電機付属設備検査	(潤滑油診断:1C[空気圧縮機,調 速機]) (振動診断:1M[潤滑油ライニング ポンプ,温水循環ポンプ,D/G潤滑 油アライニングポンプ電動機]) (振動診断:1M[燃料弁冷却水ポン プ,D/G燃料弁冷却水ポンプ電動 機]) (振動診断:1M[D/G燃料油移送 ポンプ電動機])	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他の弁一式	分解点検 他	G3,G4	26M～ 390M	133 非常用予備発電機付属設備検査 85 1次系安全弁検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[非常用発電装置] その他機器一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 104M	133 非常用予備発電機付属設備検査	
	蓄電池(非常用)	機能・性能試験	G3	1C	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	
	計装用電源装置	蓄電池点検		13M		
	計装用電源装置	機能・性能試験 他	G3	13M	111 インハータ機能検査	
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[その他の電源装置] その他機器一式	電気試験 他	G3	13M～ 78M		
	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	39M～ 96M		
	その他発電用原子炉の附属施設(非常用電源設備)[その他の機器]	特性試験 他	G3,G4	13M～ 404 78M		
	その他発電用原子炉の附属施設(常用電源設備)[発電機]	分解点検 他	G1,G3,G4	13M～ 130M		
	変圧器設備 一式	開放点検 他	G3	13M～ 195M		一部プラント運転中
	しゃ断器 一式	遮断器点検 他	G3	26M～ 108M		一部プラント運転中
	その他発電用原子炉の附属施設(常用電源設備)[しゃ断器]	内部・外部点検 他	G3,G4	12M～ 78M		一部プラント運転中
	補助ボイラ設備 一式	開放点検 他	G4	144M～ 216M※1	130 補助ボイラ開放検査※1 131 補助ボイラ性能検査※2 132 補助ボイラ設備検査※2	プラント運転中 (振動診断:6M[補助ボイラ給水ポンプ]) ※1 前回の点検後の運転時間が4000時間、又は起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 補助ボイラ性能検査及び設備検査は、補助ボイラ開放検査に合わせ実施する。

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内には適用する設備診断技術〕	
その他発電用原子炉の 附属施設(補助ボイラー) [補助ボイラーに属する燃 料燃焼設備]	燃料噴燃ポンプ3A	分解点検 機能・性能試験	G4	12Y	132 補助ボイラー設備検査	フロント運転中 (振動診断:6M)	
	燃料噴燃ポンプ3A電動機	分解点検 機能・性能試験	G4	CBM		(振動診断:6M)	
	燃料噴燃ポンプ3B	分解点検 機能・性能試験	G4	12Y	132 補助ボイラー設備検査	フロント運転中 (振動診断:6M)	
	燃料噴燃ポンプ3B電動機	分解点検 機能・性能試験	G4	CBM		(振動診断:6M)	
	燃料噴燃ポンプ3C	分解点検 機能・性能試験	G4	12Y	132 補助ボイラー設備検査	フロント運転中 (振動診断:6M)	
	燃料噴燃ポンプ3C電動機	分解点検 機能・性能試験	G4	CBM		(振動診断:6M)	
	その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) [消火設備]	消火ポンプ3A(電動)	機能・性能試験 分解点検	G4	1Y		フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		消火ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	10Y		フロント運転中または定検停止中
		消火ポンプ3B(ディーゼルエンジン)	機能・性能試験	G4	1Y		フロント運転中または定検停止中
		消火ポンプ3B(ディーゼルエンジン)	機能・性能試験 部分点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M, 潤滑油診断:1Y)
		消火ポンプ3B(ディーゼル駆動)	機能・性能試験	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		消火系統機器(AM機能範囲)一式	分解点検 取替	G3	10Y		フロント運転中または定検停止中 ※1 巡視点検(AM)の結果により取 替実施(巡視点検:1M) 一部フロント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕	
その他発電用原子炉の 附属施設(火災防護設 備) 〔その他設備〕	全域ハロゲン消火設備 一式	機能・性能試験	G3	12M～ 13M		一部プラント運転中	
	防火タンク 一式	作動確認	G3,G4	130M～ 144M		プラント運転中	
	煙等流入防止装置 一式	分解点検	G3	130M	84 1次系弁検査		
	可搬型排煙装置(中央制御室)	作動確認	G3	1C			
	可搬型排煙装置(中央制御室)電動機	作動確認	G3	1C			
	可搬型の排煙装置	分解点検(本体)	G4	130M			
	可搬型の排煙装置	作動確認	G4	1C			
	ほう酸ポンプ室耐火障壁	外観点検	G4	1C			
	貫通部シール	外観点検	G4	10C			
	その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施 設) 〔外郭浸水防護設備〕 〔内郭浸水防護設備〕	その他発電用原子炉の附属施設(火災防 護設備)〔その他設備〕 その他機器 一式	特性試験 他	G4	12M～ 130M		一部プラント運転中
		海水ポンプエア水密ハッチ 一式	開放点検	G3	26M		
		海水ポンプエア水密扉 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
		原子炉補助建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
		原子炉建屋水密扉 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
その他発電用原子炉の 附属施設(浸水防護施 設) 〔その他設備〕	海水ビットポンプ室防護壁3号	外観点検	G3	1C			
	浸水防護扉 一式	外観点検	G3	1C			
	ターミナルエレベータ部カバー 一式	外観点検	G4	5C			
	床トレンライク逆止弁 一式	分解点検	G3	130M	84 1次系弁検査		
	海面監視カメラ(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M			
	耐震型海水ビット水位計(監視含む) 一式	特性試験	G4	13M		72 計測制御系監視機能検査	
	蒸気漏えいの自動検知・遠隔隔離システム 一式	機能・性能試験 他	G4	13M～ 130M		84 1次系弁検査	
	貫通部止水処置	外観点検	G3	1Y～ 10Y		プラント運転中または定検停止中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術 〕	
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用取水 設備) 〔取水設備〕	海水ピット運3A	開放点検	G3	13M	167 海水ピット運検査		
	海水ピット運3B	開放点検	G3	13M	167 海水ピット運検査		
その他発電用原子炉の 附属施設(緊急時対策 所)	緊急時対策所(BL-32m)	外観点検	高	1Y		プラント運転中または定検停止中	
		非破壊試験		5Y		プラント運転中または定検停止中	
		漏えい試験		6YP		140 緊急時対策所の居住性確認検査	
		外観点検	G3	1C			
電巻防護対策設備	補助給水タンクエ/ア防護壁3号	外観点検	G3	1C			
		外観点検	G3	1C			
		外観点検	G3	1C			
		外観点検	G3	1C			
		外観点検	G3	1C			
		外観点検	G3	1C			
		外観点検	高,低	1C		一部プラント運転中	
土木建築設備	原子炉格納施設	非破壊試験		5Y		一部プラント運転中	
		外観点検	高,低	1Y		プラント運転中または定検停止中	
	原子炉建屋	非破壊試験		5Y		プラント運転中または定検停止中	
		外観点検	高,低	1Y		プラント運転中または定検停止中	
	原子炉補助建屋	非破壊試験		5Y		プラント運転中または定検停止中	
		外観点検 他	高,低	1Y~5Y		プラント運転中または定検停止中	
	放水設備 一式	総合性能試験	G3	1C		定検起動後	
		機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中	
	プラント総合 全般機器	原子炉及びその附属設備(非常用予備充 電装置を除く)	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
		化学消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	水槽付消防自動車	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中	
	海水取水用水中ポンプ	外観点検	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中	
	諸機器	機能・性能試験 他	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中	

2.点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料貯蔵設備〕	使用済燃料ピット広域水位(AM)計測装置 一式	特性試験 他	G3	13M	72 計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピット監視カメラ(可搬型の使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備を含む。) 一式	特性試験 他	G3	13M~130M	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	大型ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	アラート運転中または定検停止中	
		分解点検		10Y		アラート運転中または定検停止中	
	大型ポンプ車(泡混合機能付)	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査	アラート運転中または定検停止中	
		分解点検		10Y		アラート運転中または定検停止中	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	中型ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	アラート運転中または定検停止中	
		分解点検		10Y		アラート運転中または定検停止中	
	加圧ポンプ車	機能・性能試験	G3	1Y	161 可搬型重大事故等対処設備機能検査 162 可搬型注水等設備機能検査	アラート運転中または定検停止中	
		分解点検		10Y		アラート運転中または定検停止中	
大型放水砲	2台	外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	
		外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	小型放水砲	外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	
		外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	3台	外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中
			機能・性能試験	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕	取水ピットソルトウェンズ 一式	外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	
		外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔その他設備〕	海水ピットソルトウェンズ 一式	外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	
		外観点検	G3	1Y		アラート運転中または定検停止中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	放水ポンプシフトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	放水ポンプシフトシート 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	雨水排水口海洋シフトフェンス 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	放射性物質吸着剤 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 弁 一式	分解点検	G3	130M～ 156M		
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 ディスプレイベース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設 備〕	高圧注入ポンプ3B及び電動機冷却水屋外 放出用5mフレキングバルブベース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	マニホールド(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	原子炉補機冷却水サージタンク室兼供給用 14mフレキングバルブベース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	窒素ボンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ稼働用5mフレキング バルブベース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	格納容器雰囲気ガスファンバルブ冷却器冷却水 屋外放出用21mフレキングバルブベース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替冷却水ポンプ 一式	機能・性能試験	G3	1C	161 可搬型重大事故等対処設備機能 検査	
		外観点検		1C		
	可搬型代替冷却水ポンプ電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C		
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 弁 一式	分解点検 他	G3	130M～ 156M	85 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 ディスプレイベース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水 設備〕	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 弁一式	分解点検	G3	156M		
原子炉冷却系統施設 〔蒸気タービンに附属する 管等〕	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕 弁一式	分解点検	G3	156M		
計測制御系統施設 〔計測装置〕	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器 水素濃度監視計器 計測制御系統施設 〔計測装置〕 弁一式	特性試験 他 1個 5個 2個 2個	G3	13M	35 プラント状態監視機能検査 72 計測制御系監視機能検査	
計測制御系統施設 〔計測装置〕	計測制御系統施設 〔計測装置〕 弁一式	分解点検	G3	156M		
計測制御系統施設 〔計測装置〕	計測制御系統施設 〔計測装置〕 その他機器 一式	外観点検	G3	13M		プラント運転中または定検停止中
計測制御系統施設 〔工学的安全施設等の 作動信号〕	ATWS緩和設備 一式	特性試験	G3	13M	149 重大事故時安全停止回路機能検査	
計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕	計測制御系統施設 〔制御用空気設備〕 弁一式	分解点検 他	G3	130M	85 1次系安全弁検査	
	蒸気ポンプ(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	マニホールド(空気作動弁用) 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	空気作動弁用フレキシブルホース 一式	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
計測制御系統施設 〔その他設備〕	代替格納容器雰囲気ガスファンク圧縮装置 一式	機能・性能試験	G3	1C	161 可搬型重大事故専対処設備機能検査	
	代替格納容器雰囲気ガスファンク圧縮装置 電動機 一式	外観点検		1C		
	代替格納容器雰囲気ガスファンク圧縮装置 電動機 一式	機能・性能試験	G3	1C		
	中央制御室用可搬型照明	外観点検	G4	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型計測器 一式	計器校正	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
放射線管理施設 〔放射線管理用計装 置〕	酸素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	二酸化炭素濃度計(中央制御室用)	単体調整試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	緊急時用携帯型通話設備 (緊急時用携帯型通話装置) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	無線通信設備(無線通信装置(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	衛星電話設備(衛星電話(可搬型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	衛星電話設備(衛星電話(固定型)) 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	統合原子力防災ネットワークに接続する通信 連絡設備 一式	機能・性能試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	計測制御系統施設 〔その他設備〕 弁 一式	分解点検	G3	156M		
	緊急時対策アエリアモニタ 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型使用済燃料ピットアエリアモニタ 一式	特性試験	G3	12M~ 13M	76 放射線監視装置機能検査	プラント運転中または定検停止中
	可搬型代替モニタ 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型モニタ 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型放射線計測器 一式	特性試験	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型ガスサンプラ 一式	機能・性能試験	G4 G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型気象観測設備 一式	特性試験	G4 G3	1Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
放射線管理施設 [換気設備]	緊急時対策所空気浄化系	機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンA	機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
		分解点検		15Y		フロント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンA電動機	分解点検	G3	15Y		フロント運転中または定検停止中
		機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンB	分解点検	G3	15Y		フロント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査
	緊急時対策所空気浄化ファンB電動機	分解点検	G3	15Y		フロント運転中または定検停止中
		機能・性能試験	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
	緊急時対策所空気浄化ファンC	分解点検	G3	15Y		フロント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査
	緊急時対策所空気浄化ファンC電動機	分解点検	G3	15Y		フロント運転中または定検停止中
		機能・性能試験(よろ素除去効 率)	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中
緊急時対策所空気浄化ファンCユニットA	機能・性能試験(漏えい率)	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
	機能・性能試験		30Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
	開放点検		30Y		フロント運転中または定検停止中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットB	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
		機能・性能試験		30Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
		開放点検		30Y		フロント運転中または定検停止中	
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニットC	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
		機能・性能試験(漏えい率)		1Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
		機能・性能試験		30Y	164 可搬型換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中	
		開放点検		30Y		フロント運転中または定検停止中	
	緊急時対策所空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル一式	ガンハ(防火ガンハ)一式	内部・外部点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
			作動確認		12Y		フロント運転中または定検停止中
緊急時対策所加圧装置機器一式	代替格納容器スプレイトン3号	外観点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中	
		分解点検 他		G3	12M~117M	85 1次系安全弁検査	フロント運転中または定検停止中
		機能・性能試験		G3	1C	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系統機能検査	(振動診断: 1M, 潤滑油診断: 2C)
		分解点検			130M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 145 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	
	代替格納容器スプレイトン3号電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断: 1M)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉格納施設 [その他設備]	静的触媒式水素再結合装置3A	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3B	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3C	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3D	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	静的触媒式水素再結合装置3E	機能・性能試験	G3	3C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
原子炉格納施設 [その他設備]	静的触媒式水素再結合装置作動温度計測装置一式	特性試験	G3	13M	72 計測制御系監視機能検査	
	イナタイト 13台	機能・性能試験	G3	1C 2C~4C	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	イナタイト作動温度計測装置一式	特性試験	G3	13M	72 計測制御系監視機能検査	
	格納容器再循環系クワトロ開放機構一式	作動確認	G3	10C		
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] 弁一式	分解点検 他	G3	13M~ 156M		
原子炉格納施設 [その他設備]	泡混合器一式	外観点検	G3	1Y		プルト運転中または定検停止中
	水成膜泡消火薬剤(泡コンパ、希釈率1%)一式	外観点検	G4	1Y		プルト運転中または定検停止中
原子炉施設 [その他設備]	重大事故等クラス2機器(供用期間中検査対象)一式	非破壊試験	G3	10YP	144 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	
		漏えい試験		1C,10YP		
原子炉施設 [その他設備]	重大事故等クラス3機器(供用期間中検査対象)一式	漏えい試験	G3	10Y 10YP	168 重大事故等クラス3機器供用期間中検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕		
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [非常用発電装置]	空冷式非常用発電装置3号	機能・性能試験	G3	4G 1Y	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	フロント運転中		
		機関取替		10Y		フロント運転中		
		分解点検(発電機)		52M 10Y	157 その他非常用発電装置の分解検査	フロント運転中		
		潤滑油入替		26M 2Y		フロント運転中		
		機能・性能試験		G3	4G 1Y	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査	フロント運転中	
		機関取替		10Y		フロント運転中		
	非常用ガスタービン発電機	非常用ガスタービン発電機	分解点検(発電機)	G3	52M 10Y	157 その他非常用発電装置の分解検査	フロント運転中	
			潤滑油入替		26M 2Y		フロント運転中	
			機能・性能試験		G3	1Y	158 その他非常用発電装置の機能検査 160 その他非常用発電装置の付属設備検査 157 その他非常用発電装置の分解検査	フロント運転中
			分解点検(ガスタービン)		18Y		フロント運転中	
			部分点検		3Y		フロント運転中	
			分解点検(発電機)		12Y		フロント運転中	
	非常用ガスタービン発電機燃料油移送ポンプ	燃料油移送ポンプ3号用電動機	潤滑油入替	G3	2Y		フロント運転中	
			分解点検		10Y		(潤滑油診断:1Y, 振動診断:1Y) フロント運転中	
		分解点検	G3	8Y		(振動診断:1Y) フロント運転中		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	非常用ガスタービン発電機燃料油サービスタング	開放点検	G3	16Y		フロント運転中
	非常用ガスタービン発電機燃料油貯油槽	開放点検	G3	10Y		フロント運転中
	非常用ガスタービン発電機制御装置	制御盤点検	G3	1Y		フロント運転中
		保護継電器特性試験等		6Y		フロント運転中
		校正試験 他		1Y~6Y		フロント運転中
	非常用ガスタービン発電機 その他の機器 一式	特性試験 他	G3	1Y~30Y	I-160 その他非常用発電装置の付属 設備検査	一部フロント運転中
	No.1 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.2 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.3 300kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.1 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.2 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	No.3 75kVA電源車	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3A	内部・外部点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3B	内部・外部点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用変圧器3C	内部・外部点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
その他発電用原子炉の 附属施設(非常用電源 設備) [その他の電源設備]	300kVA電源車中継端子盤A-1	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車中継端子盤A-2	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車中継端子盤B-1	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車中継端子盤B-2	内部・外部点検	G3	1C		
	300kVA電源車用電源接続ユニット1	コントロールセンタ点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット2	コントロールセンタ点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット3	コントロールセンタ点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
	300kVA電源車用電源接続ユニット4	コントロールセンタ点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
	緊急時対策所用発電機	機能・性能試験	G3	1Y	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
	軽油タンク3号	開放点検	G3	156M	124 2次系容器検査	
	ミローリ-(ミローリ)車載送油用 19.5mまたは、20mホースを含む)	機能点検	G3	0.25Y		フロント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)(非常用発電装置) 燃料補給用ボース等 一式	外観点検	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)(非常用発電装置) 非一式	分解点検	G3	156M		
	代替動力変圧器3号	内部・外部点検	G3	4C		
代替電気設備受電盤3号	遮断器点検	G3	52M			
代替計装用変圧器盤3号	内部・外部点検	G3	1C			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	代替計装用分電盤3号	内部・外部点検	G3	1G		
	蓄圧タンク3B出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C		
	蓄圧タンク3A,3C出口弁代替操作盤	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用発電機中継端子盤A	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用コントローラ	コントローラ点検	G3	4C		
	緊急時対策用100V分電盤(1)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用100V分電盤(2)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用100V分電盤(3)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用100V分電盤(4)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用100V分電盤(5)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用100V分電盤(6)	内部・外部点検	G3	1C		
	緊急時対策用空調用分電盤	内部・外部点検	G3	1C		
	可搬型整流器3A	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型整流器3B	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型整流器3C	外観点検	G3	1Y		プラント運転中または定検停止中
	可搬型直流電源装置中継端子盤3号	内部・外部点検	G3	1C		
	可搬型直流電源装置切換盤3号	内部・外部点検	G3	1C		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
蓄電池切替盤3A	内部・外部点検	内部・外部点検	G3	1C		
蓄電池切替盤3B	内部・外部点検	内部・外部点検	G3	1C		
蓄電池(重大事故等対処用)	2組(60個/組)	機能・性能試験	G3	1C	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	
蓄電池(3系統目)		機能・性能試験	G3	1C	53-3 直流電源系機能検査 159 直流電源系作動検査	フロント運転中
蓄電池(3系統目) その他の機器 一式		直流電源装置点検 他	G3,G4	13M~ 26M		フロント運転中
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [その他の電源装置] その他機器 一式		機能・性能試験 他	G3,G4	12M~ 13M	163 可搬型代替電源設備検査	フロント運転中または定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設(浸水防護施設) [内郡浸水防護設備]		外観点検	G3	1C		
その他発電用原子炉の附属施設(緊急時対策所)	格納容器スプレイ冷却器室漏えい防止堰 3A,3B	外観点検	G3	1C		
その他発電用原子炉の附属施設(緊急時対策所)	2台 酸素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む)	単体調整試験	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
土木建築設備	2台 二酸化炭素濃度計(緊急時対策所用) (予備含む)	単体調整試験	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中
土木建築設備	非常用ガス・ヒン発電機建屋	外観点検	低	1Y		フロント運転中または定検停止中
全設機器	ホイルローダー 一式	機能・性能試験	G3	1Y		フロント運転中または定検停止中

3.4. 点検計画(1,2,3号機共用設備)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	分解点検	G3~G4	37Y		プラント運転中
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	目視点検	G4	5Y		プラント運転中
放射性廃棄物の廃棄 施設 [気体,液体又は固体 廃棄物貯蔵設備]	2棟 外観点検 他	他	低	1Y~ 5Y		プラント運転中または定検停止中
	1棟 外観点検 他	他	低	1Y~ 5Y		プラント運転中または定検停止中
放射性廃棄物の廃棄 施設 [気体,液体又は固体 廃棄物処理設備]	機能・性能試験	機能・性能試験	G4	5Y	66 固体廃棄物処理系統却戸機能検査	プラント運転中または定検停止中
	分解点検 他	他	G4	4Y~ 16Y		プラント運転中または定検停止中
放射性廃棄物の廃棄 施設 [気体,液体又は固体 廃棄物貯蔵設備]	分解点検 他	他	G3~G5, 低	1Y~ 12Y		プラント運転中または定検停止中 一部CBMあり 一部BDMあり 一部点検実施
	特性試験	特性試験	G3	10M 1Y	76 放射線監視装置機能検査	プラント運転中または定検停止中
放射線管理施設 [放射線管理用計測 装置]	1台 特性試験	特性試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
	4台 特性試験	特性試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
放射線管理施設 [放射線管理用計測 装置]	2台 特性試験	特性試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中
	単体調整試験 他	他	G3	1Y~ 5Y		プラント運転中または定検停止中
放射線管理施設 [換気設備]	機能・性能試験	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
	分解点検	分解点検		CBM		
前処理室排気ファン電動機	機能・性能試験	機能・性能試験	G4	8Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
	分解点検	分解点検		8Y		プラント運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	焼却炉建家給気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家給気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	8Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		8Y		
	焼却炉建家給気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家給気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	8Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		8Y		
	焼却炉建家排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する 設備診断技術〕
	焼却炉建家排気ファンC	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		
	焼却炉建家排気ファンC電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合せて実施 (振動診断:1M)
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮機排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファント運転中または定検停止中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮機排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y		
	高圧圧縮機排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファント運転中または定検停止中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮機排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y		
	高圧圧縮機排気ファンA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファント運転中または定検停止中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮機排気ファンA電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファント運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y		


機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	高圧圧縮機排気ファンB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		分解点検		CBM		
	高圧圧縮機排気ファンB電動機	機能・性能試験	G4	6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
		分解点検		6Y		ファン運転中または定検停止中
	前処理室排気ファンユニット	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気ファンユニットA	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	焼却炉建家排気ファンユニットB	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
	高圧圧縮機排気ファンユニット	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
その他発電用原子炉 の附属施設 〔電気設備〕	ファン(クランプ・オレイン・ク、防火ガンバ、手動ガンバ 含む) 一式	機能・性能点検 他	G4	4Y~ 15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中または定検停止中
		開放点検 他	G3	36M~ 182M		ファン運転中または定検停止中
その他発電用原子炉 の附属施設 〔電気設備〕	変圧器設備 一式	しゃ断器点検 他	G3	6Y		ファン運転中または定検停止中
		内部・外部点検 他	G3	6Y		ファン運転中または定検停止中
その他発電用原子炉 の附属施設(火災防 護設備) 〔消火設備〕	その他発電用原子炉の附属施設 〔電気設備〕 その他機器 一式 ディーゼル駆動消火ポンプ・ディーゼルエンジン	機能・性能試験	G3	1Y		ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M,潤滑油診断:1Y)
		分解点検		10Y		ファン運転中または定検停止中
		部分点検		1Y		ファン運転中または定検停止中
		機能・性能試験	G3	1Y		ファン運転中または定検停止中 (振動診断:1M)
	ディーゼル駆動消火ポンプ	分解点検		6Y		ファン運転中または定検停止中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	電動消火ポンプ	機能・性能試験	G4	1Y		フロント運転中または定検停止中
		分解点検				
	電動消火ポンプ電動機	機能・性能試験	G4	1Y		フロント運転中または定検停止中
	消火系統機器(AM機能範囲) 一式	取替	G3	CBM ※1		一部フロント運転中 (巡視点検:1M)

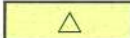
伊方発電所第3号機

第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

記載例

 : 機能要求なし

 : 機能要求あり

 : 機能要求あり (条件付)

なお、上記においても要求除外となる場合がある。詳細は、伊方発電所原子炉施設保安規定を参照。

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 解列 ▽ RCS降温 </div> <div style="text-align: center;"> R/V開放 </div> <div style="text-align: center;"> 燃料取出 1次系弁機器点検 </div> <div style="text-align: center;"> 燃料線荷 R/V覆旧 </div> <div style="text-align: center;"> 各種試験 </div> <div style="text-align: center;"> 並列 ▽ 出力上昇試験 </div> </div>														
RCS水位		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> キヤビティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全プロロー </div> </div>														
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2	6-2	5-1	4	5-1	4	3
放射線物質格納機能	第55条 アニュラス空 気浄化系	モード3, 4	アニュラス空気浄化系2系統が動作可能であること	アニュラス空気浄化系 ・アニュラス排気ファン ・アニュラス排気フィルタ	×								×			
	第59条 アニュラス	モード3, 4	アニュラスの機能が健全であること(アニュラス内点検、エアロクック点検を行う場合、運転上の制限を適用しない。)	アニュラス ・アニュラス排気ファン	×								×			
	第61条 主蒸気隔離弁	モード3	主蒸気隔離弁が閉止可能であること(閉止状態にある主蒸気隔離弁について、運転上の制限を適用しない。)	主蒸気隔離弁	×								×			
	第62条 主給水隔離弁、 主給水制御弁お よび主給水ハイ パス制御弁	モード3	主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水ハイパス制御弁が閉止可能であること(閉止状態にある主給水隔離弁、主給水制御弁または主給水ハイパス制御弁については、運転上の制限を適用しない。)	主給水隔離弁 ・主給水制御弁 ・主給水ハイパス制御弁	×											
第81条 原子炉キャビティ 水位	モード6-2(キャビティ満 水位、原子炉キャビティ水 位がEL.31.7m以上)		原子炉キャビティ水位がEL.31.7m以上であること(計画的な原子炉キャビティ水抜きによりモード6(キャビティ低水位)に移行する場合、運転上の制限を適用しない。)					△								
第82条 原子炉格納容器 貫通部	モード5, 6		機器ハッチが全ポートで閉じられていること(原子炉格納容器内で燃料移動を行っている場合は、速やかに閉止することを含む。) ・エアロクック ・燃料容器隔離弁 ・格納容器バウンダリ機器													
第89条 使用済燃料ピツ トの水位および 水温	全モード		使用済燃料ピット水位がEL.31.7m以上であること(燃料系燃料の移動を行っていない場合は、運転上の制限を適用しない。) ・使用済燃料ピット水温が65℃以下であること(燃料系燃料の移動を行っていない場合は、運転上の制限を適用しない。)													
第90条 1次冷却系	モード3		制御棒の引抜操作が行える状態である場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が運転中であること(制御棒が挿入され、制御棒ドラフト駆動装置(MG-セット)による電源が制御棒駆動装置に供給されている状態をいう。) ・制御棒の引抜操作が行える状態でない場合は、蒸気発生器による熱除去系2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること													
第97条 1次冷却系	モード4		余熱除去系または蒸気発生器による熱除去系のうち、2系統以上が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること													

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		並列 ▽ RCS降溫 R/V開放 燃料取出 燃料線荷 各種試験 出力工野試験 並列 ▽ 起動試験														
RCS水位		R/V復旧 1次系弁機器点検														
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-1外	6-2	5-1	4	5-1	4	3
前場熱除去機能	第39条 1次冷却系	モード5-1 (1次冷却系満水)	キヤベティ満水 RCS満水 ミッドグループ RCS室プロロー	要求内容 ・蒸気発生器1系統が運転中であること(計画的にモード4に加熱すること条件は、蒸気発生器1系統が計器スパンの5%以上であることを条件に、すべての蒸気発生器を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)(計画的にモード4に加熱する目的に1次冷却材ポンプを起動する場合は、他の蒸気発生器が動作可能であることを条件に、1次冷却材ポンプの起動後までの1時間限り、当該蒸気発生器を停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。) ・他の蒸気発生器が動作可能もしくは運転中であるか、2基以上の蒸気発生器の水位(蒸気発生器1基以上の水位(保線)が計器スパンの5%以上であることを条件に、すべての蒸気発生器を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)												
第39条 1次冷却系	モード5-2 (1次冷却系非満水)	要求内容 ・蒸気発生器2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること(1次冷却材ポンプによる1次冷却系を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)(ポンプの切替が行われていること、1次冷却材中のほうが温度が低下する操作が行われていないこと、1次冷却材水温度低下につながる操作が行われていないこと)のすべてを満足させることにより、15分以内に、すべての蒸気発生器を停止することが許容される。)(蒸気発生器を隔離することが許容されないとはみなさない。)(蒸気発生器を隔離することが許容されることと、蒸気発生器を停止することが許容されることとはみなさない。)(1次冷却材ポンプのターニングトルクの計測を行う場合は、2時間以内に、すべての蒸気発生器を停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)														
第40条 1次冷却系	モード6-2 (キヤベティ高水位)	要求内容 ・蒸気発生器1系統が動作可能であること(1次冷却材中のほうが蒸気発生器を停止することを条件に、8時間あたり1時間に限り、蒸気発生器を停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)														
第41条 1次冷却系	モード6-1 (キヤベティ低水位)	要求内容 ・蒸気発生器2系統が動作可能であり、そのうち1系統以上が運転中であること(キヤベティ水抜きおよび水抜きを行っている場合は、蒸気発生器への切替操作が可能であること、および他の1系統が運転中であることを条件に、1系統を隔離することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)(1次冷却材ポンプのターニングトルクの計測を行う場合は、2時間以内に、すべての蒸気発生器を停止することが許容される。この場合、運転上の制限を満足しないとはみなさない。)														
第60条 主蒸気安全弁	モード3 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	要求内容 ・主蒸気安全弁が蒸気発生器毎に以下の回数以上が動作可能であること 原子炉熱出力が90%超、かつ5層 原子炉熱出力が60%超、かつ2層 原子炉熱出力が40%超、かつ3層 原子炉熱出力が40%以下、かつ2層														
第63条 主蒸気速がし弁	モード3、モード4	要求内容 ・主蒸気速がし弁が手動での開弁ができること														
第64条 補助給水系	モード3	要求内容 ・電動補助給水ポンプによる2系統およびタービン補助給水ポンプによる1系統が動作可能であること(タービン補助給水ポンプについては、原子炉起動時のモード3において駆動に係る開閉を行っている場合、運転上の制限は適用しない。)														

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		並列 ▽ RCS降溫 R/V開放 燃料取出 燃料裝荷 各種試験 出力上昇試験 起動試験													
RCS水位		3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	
炉心冷却機能	保安規定条文 第64条 補助給水系	要求モード モード4 (蒸気発生器が熱除去の ために使用されている場 合)	関連設備 ・補助給水系 ・電動補助給水ポンプ	△							△		△		
	第65条 復水タンク	モード3、モード4 (蒸気発生器が熱除去の ために使用されている場 合)	・補助給水タンク ・非常用炉心冷却系作動回路 ・非常用炉心冷却系作動回路起動後 出、伝送ライン	×	△						△		△	×	
炉心冷却機能	第33条 設備および制御 設備および安全施 設等作動計装)	モード3、4	(1) 非常用炉心冷却系作動 回路が2系統動作可能であること (原子炉格納容器スプレイ系が動作可能であること、原子炉格納容器スプレイ系作動回路の構成要素において、真り1系統が動作可能であることと条件に2時間以内に1系統をバイパスすることができる、この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない) ・非常用炉心冷却系作動回路が2チャンネル動作可能であること (2) 原子炉格納容器スプレイ系作動 回路が2系統動作可能であること、原子炉格納容器スプレイ系作動回路の構成要素において、真り1系統が動作可能であることと条件に2時間以内に1系統をバイパスすることができる、この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない) ・原子炉格納容器スプレイ系作動回路が4チャンネル動作可能であること (3) 原子炉格納容器隔離A(格納容器隔離A) ・格納容器隔離A作動回路が2系統動作可能であること、(原子炉格納容器隔離A)作動回路の構成要素において、真り1系統が動作可能であることを条件に2時間以内に1系統をバイパスすることができる、この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない) ・格納容器隔離A作動回路が2チャンネル動作可能であること ・非常用炉心冷却系作動による格納容器隔離A作動、(1)非常用炉心冷却系作動に同じ (4) 原子炉格納容器隔離B(格納容器隔離B) ・格納容器隔離B作動回路が2系統動作可能であること、(原子炉格納容器隔離B)作動回路の構成要素において、真り1系統が動作可能であることを条件に2時間以内に1系統をバイパスすることができる、この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない) ・原子炉格納容器隔離B作動による格納容器隔離B作動、(2)原子炉格納容器隔離B作動に同じ (5) 格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低の一一致による隔離作動回路が2系統動作可能であること ・格納容器隔離A作動、(3)格納容器隔離Aに同じ ・6.6kV非常用母線電圧低計装が1母線あたり3チャンネル動作可能であること ・非常用炉心冷却系作動による格納容器隔離B作動、(2)原子炉格納容器隔離B作動に同じ ・6.6kV非常用母線電圧低信号後出、伝送ライン	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第32条 設備および制御 設備および安全施 設等作動計装)	モード3、4	・原子炉格納容器スプレイ系作動回路が2系統動作可能であること、(原子炉格納容器スプレイ系作動回路の構成要素において、真り1系統が動作可能であることを条件に2時間以内に1系統をバイパスすることができる、この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない) ・原子炉格納容器スプレイ系作動回路が4チャンネル動作可能であること (3) 原子炉格納容器隔離A(格納容器隔離A) ・格納容器隔離A作動回路が2系統動作可能であること、(原子炉格納容器隔離A)作動回路の構成要素において、真り1系統が動作可能であることを条件に2時間以内に1系統をバイパスすることができる、この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない) ・格納容器隔離A作動による格納容器隔離A作動、(1)非常用炉心冷却系作動に同じ (4) 原子炉格納容器隔離B(格納容器隔離B) ・格納容器隔離B作動回路が2系統動作可能であること、(原子炉格納容器隔離B)作動回路の構成要素において、真り1系統が動作可能であることを条件に2時間以内に1系統をバイパスすることができる、この場合、バイパスした系統を動作不能とはみなさない) ・原子炉格納容器隔離B作動による格納容器隔離B作動、(2)原子炉格納容器隔離B作動に同じ (5) 格納容器隔離Aと6.6kV非常用母線電圧低の一一致による隔離作動回路が2系統動作可能であること ・格納容器隔離A作動、(3)格納容器隔離Aに同じ ・6.6kV非常用母線電圧低計装が1母線あたり3チャンネル動作可能であること ・非常用炉心冷却系作動による格納容器隔離B作動、(2)原子炉格納容器隔離B作動に同じ ・6.6kV非常用母線電圧低信号後出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位												
炉心冷却機能		RCS水位												
保安規定条文		RCS水位												
項目		RCS水位												
第33条 計測および制御 設備 (工学的安全施設等) 動作計画	要求モード モード3, 4	要求内容 (6) 格納容器換気系隔離 ・格納容器換気系隔離作動論理回路が2系統動作可能であること ・原子炉格納容器スプレイス作動(手動起動)による格納容器換気系隔離作動 (2) 原子炉格納容器スプレイス作動(手動起動)に同じ ・格納容器隔離A手動起動による格納容器換気系隔離作動(3) 格納容器隔離A作動(手動起動)に同じ ・非常用炉心冷却系作動による格納容器換気系隔離作動(1) 非常用炉心冷却系作動に同じ	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	5-1	4	5-1	4	3
モード3	モード3	(1) 非常用炉心冷却系作動 ・格納容器圧力高(高1)が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。 (2) 原子炉格納容器スプレイス作動 ・格納容器圧力異常高(高3)が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。 (3) 格納容器隔離B ・格納容器圧力異常高(高3)による格納容器隔離B作動(2) 原子炉格納容器スプレイス作動に同じ	格納容器換気系隔離作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動論理回路 ・原子炉格納容器スプレイス作動論理回路 ・格納容器隔離A作動論理回路 ・非常用炉心冷却系作動起動信号後出、伝送ライン ・原子炉格納容器スプレイス作動起動信号後出、伝送ライン ・格納容器隔離A手動起動信号後出、伝送ライン											
モード3(P-11以上) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	モード3(P-11以上) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	非常用炉心冷却系作動 ・原子炉圧力低および加圧器水位低が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。 ・主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	原子炉格納容器スプレイス作動論理回路 ・原子炉格納容器スプレイス作動論理回路 ・加圧器水位低信号後出、伝送ライン ・原子炉格納容器スプレイス作動論理回路 ・主蒸気ライン圧力低信号後出、伝送ライン											
モード3(P-11未満) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	モード3(P-11未満) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	主蒸気ライン隔離 ・主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	主蒸気ライン隔離作動論理回路 ・主蒸気ライン隔離作動論理回路 ・主蒸気ライン圧力異常高(高2)信号後出、伝送ライン ・格納容器圧力異常高(高2)信号後出、伝送ライン											
モード2(P-11未満) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	モード2(P-11未満) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く)	主蒸気ライン隔離 ・主蒸気ライン圧力減少率高が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	主蒸気ライン隔離作動論理回路 ・主蒸気ライン圧力減少率高(高2)信号後出、伝送ライン											



伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	主要工程											並列 ▽	各種試験	並列 ▽				
				RCS水位	キャビティ満水	RCS満水	ミッドグループ	RCS全ブロー	RCS降温	R/V開放	燃料取出	燃料裝荷	1次系弁駆動点検	R/V復旧				出力上昇試験			
炉心冷却機能	第33条 計測および制御 設備 (工学的安全施設等作動計装)	モード3 (主給水隔離弁、主給水制御弁および主給水バイパス制御弁が閉止または隔離されている場合を除く)	主給水隔離 ・主給水隔離作動論理回路がシステム動作可能であること(炉心炉保護系論理回路の機能終止条件においては、残リシステムが動作可能であることと条件に、2階層に限り、1系統をバイパスする事ができる。この場合、バイパスした系統を動作不能とみなさない。) ・蒸気発生器水位異常が1基あたり4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることが可能。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。) ・非常用炉心冷却系作動による主給水隔離:モード3、4(1)非常用炉心冷却系作動に同じ	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3	起動試験	出力上昇試験	
		モード3 (主給水隔離弁および主給水バイパス制御弁が閉止または隔離されている場合を除く)	主給水隔離作動論理回路 ・主給水隔離作動論理回路 ・原子炉保護系論理回路 ・1次冷却材平均温度低値信号検出、伝送ライン ・手動原子炉トリップ信号検出、伝送ライン ・線源領域中性子束高信号検出、伝送ライン	△														△			
		モード3	主給水隔離 ・1次冷却材平均温度低が4チャンネル動作可能であることおよび原子炉保護系計装(原子炉保護系論理回路の4系統、手動原子炉トリップの2チャンネル、線源領域中性子束高の2チャンネル)が動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることと条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルを動作不能とはみなさない。)	△															△		
		モード3(P-11以上)	インターロック ・P-11インターロックのため、加圧器圧力が4チャンネル動作可能であること	△															△		
	第33条 計測および制御 設備 (事故時監視計装)	モード3	(1) 1次冷却系計装 ・1次冷却材圧力が2チャンネル動作可能であること ・加圧器水位が2チャンネル動作可能であること ・1次冷却材温度(広域)(高温側)検出、伝送ライン ・1次冷却材温度(広域)(低温側)検出、伝送ライン (2) 化学体積制御系計装 ・ほうろくタンク水位が2チャンネル動作可能であること (3) 主蒸気および給水、補助給水計装 ・主蒸気ライン圧力が2チャンネル動作可能であること ・補助給水タンク水位が2チャンネル動作可能であること ・蒸気発生器水位(広域)が3チャンネル動作可能であること ・補助給水流量が3チャンネル動作可能であること (4) 燃料取替用水系計装 ・燃料取替用水タンク水位が2チャンネル動作可能であること (5) 原子炉格納容器関連計装 ・格納容器再循環ポンプ水位(広域)が2チャンネル動作可能であること ・格納容器再循環ポンプ水位(狭域)が2チャンネル動作可能であること ・原子炉格納容器内圧力が2チャンネル動作可能であること ・原子炉格納容器内温度(低レンジ)が2チャンネル動作可能であること ・原子炉格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)が2チャンネル動作可能であること (6) 原子炉格納容器冷却系計装 ・原子炉格納容器冷却水サージタンク水位が2チャンネル動作可能であること (7) 制御用空気系計装 ・制御用空気圧力が2チャンネル動作可能であること (8) 非常用炉心冷却系計装 ・高圧注入流量が2チャンネル動作可能であること ・低圧注入流量が2チャンネル動作可能であること	×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		
				×															×		

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		並列 ▽ RCS降溫 R/V開放 燃料取出 燃料集荷 各種試験 出力上昇試験																	
RCS水位		起動試験																	
項目	保安規定条文	要求モード	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モ-ト外	6-1	6-2	5-1	4	5-1	4	3			
炉心冷却機能	第50条 蓄圧タンク	モード3 (1次冷却系圧力が6.89MPa (Leve)を起る場合)	要求内容 ・蓄圧タンクのほう素濃度が4,400ppm以上であること ・蓄圧タンクのほう素水量(着加水量)が99.0m ³ 以上であること ・蓄圧タンクの圧力が4.04MPa (Leve)以上であること ・蓄圧タンクの出口隔離弁が全開であること	△															
		モード3	・蓄圧注入系の2系統が動作可能であること(蓄圧注入ポンプを用いて蓄圧タンクの水張りを行う場合は、蓄圧注入系への切替操作が可能状態であることを各様に、動作不能とはみなさない) ・蓄圧注入系の2系統が動作可能であること	×														×	
		モード4	・蓄圧注入系または蓄圧注入系1系統以上が動作可能であること ・蓄圧注入系1系統以上が動作可能であること(余熱除去ポンプを用いて余熱除去運転を行っている場合は、蓄圧注入系への切替操作が可能状態であることと条件に、動作不能とはみなさない。)	×															
		モード3, 4	・燃料取替用水タンクのほう素濃度が4,400ppm以上であること ・燃料取替用水タンクのほう素水量(着加水量)が1,700m ³ 以上であること	×															×
電源供給	第33条 計測および制御設備(非常用ディーゼル発電機起動計装)	モード3, 4	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が2系統動作可能であること ・非常用炉心冷却系動作論理回路が2系統動作可能であること ・非常用炉心冷却系動作論理回路が2系統動作可能であること(残り1系統が動作可能であることと条件に、1系統は動作不能とはみなさない。この場合、バイパスしたチャネルを動作不能とはみなさない。) ・非常用炉心冷却系動作論理回路が2チャネル動作可能であること	×														×	
		モード3	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が2系統動作可能であること ・格納容器圧力高(高1)が4チャネル動作可能であること(残りの3チャネルが動作可能であることを条件に、1チャネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャネルを動作不能とはみなさない。)	×															×
		モード3(P-11以上)	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が2系統動作可能であること ・原子炉圧力低および加圧器水位低が4チャネル動作可能であること(残りの3チャネルが動作可能であることを条件に、1チャネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャネルを動作不能とはみなさない。) ・主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャネル動作可能であること(残りの3チャネルが動作可能であることを条件に、1チャネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャネルを動作不能とはみなさない。)	△															△
第72条 外部電源	モード5, 6, 照射済燃料移動中 燃料移動中	モード5, 6, 照射済燃料移動中	・非常用ディーゼル発電機起動論理回路が1系統動作可能であること ・6.8kV非常用母線電圧低後出が所要の1母線あたり3チャネル動作可能であること	×														×	
		モード3, 4, 5, 6, 照射済燃料移動中	・外部電源3回線以上が動作可能であること(外部電源の回線数は、当該原子炉に対する個々の非常用母線電圧低後出が所要の1母線単位に動作可能であることと条件に、1母線単位を動作不能とはみなさない。) ・外部電源3回線以上が動作可能であること(外部電源の回線数は、当該原子炉に対する個々の非常用母線電圧低後出が所要の1母線単位に動作可能であることと条件に、1母線単位を動作不能とはみなさない。) ・外部電源3回線以上が動作可能であること(外部電源の回線数は、当該原子炉に対する個々の非常用母線電圧低後出が所要の1母線単位に動作可能であることと条件に、1母線単位を動作不能とはみなさない。)	×														×	
		モード3, 4, 5, 6, および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・外部電源(四国中央幹線2回線、伊方北幹線2回線、伊方南幹線2回線) ・主変圧器 ・所内変圧器 ・予備変圧器	×															×
第70条 ディーゼル発電機	モード3, 4	・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(予備電源運転(ターニング、エアララン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。) ・燃料油サーベスタンプの貯油重(残存油重)が1,137.5t以上であること(非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。)	×															×	

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		並列 ▽																
		RCS降温			R/V開放		燃料取出		燃料装荷		各種試験			並列 ▽				
		R/V開放			1次系弁機器点検		R/V復旧		各種試験			出力上昇試験						
RCS水位		RCS水位																
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	5-1	5-2	4	5-1	3			
電源供給	第74条 ディーゼル発電機	モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(非常用ディーゼル発電機の手備用電源(タニニング、エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。)(非常用ディーゼル発電機には、非常用発電機1基を含めることができる。)															
		モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・非常用ディーゼル発電機とは、所要の電力供給が可能となること。なお、非常用発電機は複数の母線で共用することができる。 ・非常用ディーゼル発電機に対応する燃料油サービスタングの貯油量(保着油量)が1,375L以上であること(非常用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間は、運転上の制限を適用しない。)															
		モード3, 4, 5, 6およびディーゼル発電機の使用済燃料ピットに燃料油を貯蔵している期間	・所要の非常用ディーゼル発電機の燃料油貯油タンクおよび重油タンクの油量(保着油量)が258kL以上であること(燃料油貯油タンク129kL以上および重油タンク129kL以上をいう。)															
		モード3, 4, 5, 6およびディーゼル発電機の燃料油貯油タンクおよび重油タンクの油量(保着油量)が4,800L以上であること(予備用ディーゼル発電機の燃料油貯油タンクの油量(保着油量)が4,800L以上であること(予備用ディーゼル発電機が運転中および運転終了後の24時間間は、運転上の制限を適用しない。))	・非常用ディーゼル発電機2基が動作可能であること(非常用ディーゼル発電機の手備用電源(タニニング、エアラン)を行う場合、運転上の制限を適用しない。)(非常用ディーゼル発電機には、非常用発電機1基を含めることができる。)															
海水系統地	第75条 ディーゼル発電機の燃料油貯油タンクおよび重油貯油タンク	モード3, 4	・非常用ディーゼル発電機2系統(蓄電池非常用および充電器が動作可能であること(充電器とは充電器または後備充電器のいずれかを用い、両方が機能喪失となつて動作不能とみなす。))															
		モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用直流母線に接続する系統(蓄電池/非常用および充電器が動作可能であること(充電器とは充電器または後備充電器のいずれかを用い、両方が機能喪失となつて動作不能とみなす。))															
		モード3, 4	・非常用高圧母線2回路、非常用低圧母線4回路、非常用直流母線2回路および非常用計装用母線4回路が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)															
		モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用高圧母線、非常用低圧母線、非常用直流母線および非常用計装用母線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)															
制御用空気系	第76条 原子炉補機冷却水	モード3, 4	・原子炉補機冷却水系統が動作可能であること															
		モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却水系統1系統が動作可能であること															
		モード3, 4	・原子炉補機冷却水系統2系統が動作可能であること															
		モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却水系統1系統が動作可能であること															
制御用空気系	第77条 非常用直流電源	モード3, 4	・非常用直流電源2系統(蓄電池非常用および充電器が動作可能であること(充電器とは充電器または後備充電器のいずれかを用い、両方が機能喪失となつて動作不能とみなす。))															
		モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用直流母線に接続する系統(蓄電池/非常用および充電器が動作可能であること(充電器とは充電器または後備充電器のいずれかを用い、両方が機能喪失となつて動作不能とみなす。))															
		モード3, 4	・非常用高圧母線2回路、非常用低圧母線4回路、非常用直流母線2回路および非常用計装用母線4回路が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)															
		モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用高圧母線、非常用低圧母線、非常用直流母線および非常用計装用母線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)															
制御用空気系	第78条 原子炉補機冷却水	モード3, 4	・原子炉補機冷却水系統が動作可能であること															
		モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却水系統1系統が動作可能であること															
		モード3, 4	・原子炉補機冷却水系統2系統が動作可能であること															
		モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却水系統1系統が動作可能であること															
制御用空気系	第79条 原子炉補機冷却水	モード3, 4	・原子炉補機冷却水系統が動作可能であること															
		モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却水系統1系統が動作可能であること															
		モード3, 4	・原子炉補機冷却水系統2系統が動作可能であること															
		モード5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・原子炉補機冷却水系統1系統が動作可能であること															
制御用空気系	第80条 制御用空気系	モード3, 4	・制御用空気系2系統の圧力が0.60MPa[gage]以上であること															
		モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用直流母線に接続する系統(蓄電池/非常用および充電器が動作可能であること(充電器とは充電器または後備充電器のいずれかを用い、両方が機能喪失となつて動作不能とみなす。))															
		モード3, 4	・非常用高圧母線2回路、非常用低圧母線4回路、非常用直流母線2回路および非常用計装用母線4回路が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)															
		モード5, 6および照射済燃料移動中	・所要の設備の維持に必要な非常用高圧母線、非常用低圧母線、非常用直流母線および非常用計装用母線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。)															

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	主要工程																		
				RCS水位		RCS降溫		R/V開放		燃料取出		燃料線等		各種試験		並列						
その他				キャビティ満水	RCS満水	ミッドループ	RCS全フロー	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	0-2	0-1	5-1	4	5-1	4	3	
第33条 計画および制御設備 (中央制御室換気系隔離計装)	第33条 計画および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	モード3, 4および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	<ul style="list-style-type: none"> 中央制御室換気系隔離動作動機回路が2系統動作可能であること 中央制御室換気系隔離動作動機回路が2チャンネル動作可能であること 					X	X	△	△	△	△	△	△	△	△	X	X	△	X	X
第33条 計画および制御設備 (中央制御室換気系隔離計装)	モード3, 4	モード3, 4	<ul style="list-style-type: none"> 非常用炉心冷却系動作動機回路が2系統動作可能であること (原状保身系動作動機回路の機能検査時においては、原状保身系が動作可能であることを条件に、2時間以内、1系統をバイパスすることができ、この場合、バイパスした系統は動作不能とはみなさない。) 非常用炉心冷却系動作動機回路が2チャンネル動作可能であること 					X	X									X	X		X	X
第33条 計画および制御設備 (中央制御室外原子炉停止装置)	モード3	モード3	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器圧力高(高1)が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルは動作不能とはみなさない。) 					X	X													X
第33条 計画および制御設備 (中央制御室外原子炉停止装置)	モード3(P-11以上)	モード3(P-11以上)	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力低および加圧器水位低が4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルは動作不能とはみなさない。) 主蒸気ライン圧力低が主蒸気ライン毎に4チャンネル動作可能であること(残りの3チャンネルが動作可能であることを条件に、1チャンネルをバイパスすることができる。この場合、バイパスしたチャンネルは動作不能とはみなさない。) 					△	△													△
第33条 計画および制御設備 (中央制御室外原子炉停止装置)	モード3, 4	モード3, 4	<ul style="list-style-type: none"> 以下の設備が動作可能であること 充てんポンプ 加圧器後備ヒータ 抽出オリフィス隔離弁 原子炉精製冷却水ポンプ 池水ポンプ 電動補助給水ポンプ 蒸気発生器(広域)水位計 加圧器水位計 加圧器圧力計 線源領域中性子算計 1次冷却材圧力計(広域) 1次冷却材温度計(広域)(低温側) 					X	X									X	X		X	X
第33条 計画および制御設備 (中央制御室外原子炉停止装置)	モード4	モード4	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去ポンプが動作可能であること 					X	X													X
第33条 計画および制御設備 (中央制御室外原子炉停止装置)	モード3	モード3	<ul style="list-style-type: none"> ほう湯ポンプが動作可能であること 加圧器圧力計が動作可能であること 					X	X													X
第33条 計画および制御設備 (燃料落下および燃料取扱建屋換気系隔離計装)	第33条 計画および制御設備 (燃料落下および燃料取扱建屋換気系隔離計装)	使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中(照射終了後、所定の期間を経過した照射済燃料を取り扱う場合は除く)	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取扱建屋換気系動作動機回路が2系統動作可能であること 燃料落下検知回路が2チャンネル動作可能であること 					△	△													△
第33条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	第33条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	通常の1次冷却材の加熱・冷却時(原子炉起動、原子炉停止(異常時を除く。))	<ul style="list-style-type: none"> (1) 1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内であること (2) 1次冷却材温度変化率が以下の制限値内であること 					X	X													X

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位																
RCS水位		RCS水位																
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-1	6-2	5-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
その他	第42条 加圧器	モード3	キヤピティ満水 RCS満水 ミッドループ RCS全プロロー	関連設備 ・加圧器 ・加圧器ヒータ														
	第43条 加圧器安全弁	モード3, 4 (1次冷却材温度が130°Cを越える)		・加圧器安全弁 ・加圧器安全弁	×													×
	第44条 加圧器透かし弁	モード3		・加圧器透かし弁 ・加圧器透かし弁	×													×
	第45条 低濃度加圧防護	モード4 (1次冷却材温度が130°C以下の場合、ただし加圧器透かし弁が低圧設定になるまでの間を除く) モード5, 6 (原子炉容器のふたが閉められている場合)		・2台の加圧器透かし弁が低圧設定で動作可能であり、2台の加圧器透かし弁が閉状態であること、または1台以上の加圧器安全弁が取り外されていること ・動作可能な高圧注入ポンプが1台以下であること ・蓄圧タンク安全弁が閉鎖されていること(1次冷却系の水張りを行う場合、1基毎に閉鎖を解除することが許容される。また、蓄圧タンク出口弁の開閉確認を行う場合は、蓄圧タンク圧力が1次冷却材圧力以下であることを条件に、1基毎に閉鎖を解除することが許容される。これらの場合、運転上の制限を満足していないとはみなさない。)														
第46条 1次冷却材漏えい	モード3, 4		・原子炉格納容器サンプ水位計または蒸餾液量測定装置によって測定される漏えい率のうち、原子炉冷却材圧力カバウンダリからの漏えいでないことが確認されていない率の0.25m ³ /h以下であること ・原子炉格納容器サンプ水位計または蒸餾液量測定装置によって測定される漏えい率のうち、原子炉冷却材圧力カバウンダリからの漏えいでないことは確認されているが1次冷却材からの漏えいでないことが確認されていない率の2.3m ³ /h以下であること ・原子炉格納容器サンプ水位計または蒸餾液量測定装置が動作可能であること ・蒸餾液量測定装置の健全性を確認するための点検または洗浄により、原子炉格納容器サンプ水位計または蒸餾液量測定装置の指示値が変動する場合は除く。	・原子炉冷却材圧力カバウンダリ ・原子炉格納容器サンプ ・蒸餾液量測定装置														
第56条 原子炉格納容器真空透かし系	モード3, 4		・原子炉格納容器真空透かし系2系統が動作可能であること(動作可能であることは、真空透かし機能が確保されていることをいう。)	・原子炉格納容器真空透かし系	×													×
第69条 中央制御室非常用循環系	モード3, 4および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中		・中央制御室非常用循環系2系統が動作可能であること	・中央制御室非常用循環系 ・中央制御室非常用給気フィルタ	×													×
第70条 安全槽機置空気分化系	モード3, 4		・安全槽機置空気分化系2系統が動作可能であること	・安全槽機置空気分化系 ・安全槽機置排気フィルタ ・安全槽機置排気ファン	×													×
第71条 燃料取扱建屋空気分化系	使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中 燃料取扱建屋空気分化系		・燃料取扱建屋空気分化系2系統が動作可能であること(照射済燃料の所定期間を超過した照射済燃料を取扱う場合、運転上の制限を適用しない。なお、所定期間については、原子燃料数量があらかじめ定め、原子炉主任技術者の確認を得て、所長の承認を得る。)	・燃料取扱建屋空気分化系 ・アミニウス排気ファン	△													△
重大事故等対応設備	第84条 (第84-3-1) 1次冷却系統のフートアンドブリード	モード3および4(蒸気発生器が運転のために使用されている場合)		・高圧注入ポンプ ・加圧器透かし弁 ・燃料取扱建屋水タンク	×													×



伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		検査項目																
RCS水位		<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 系列 ▽ RCS降溫 R/V開放 燃料取出 燃料調整帯 各種試験 並列 ▽ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 出力上昇試験 起動試験 </div>																
		<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 1次系弁機器点検 R/V復旧 </div>																
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
重大事故等対応設備	第84条 (第84-4-1) 炉心注水および再循環運転	モード3, 4, 5および06	・高圧注入系および高圧再循環系それぞれ系統以上が動作可能であること (動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることという。) ・低圧注入系および低圧再循環系それぞれ系統以上が動作可能であること (動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第84条 (第84-4-2) 代替炉心注水 - 充てんポンプ (B、自己冷却式)による代替炉心注水-	モード3, 4, 5および06	・充てんポンプ(B、自己冷却式)による代替炉心注水が動作可能であること (動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
重大事故等対応設備	第84条 (第84-4-3) 代替炉心注水系 - 中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水-	モード3, 4, 5および06	・中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系統が動作可能であること (1系統とは、中型ポンプ車1台および加圧ポンプ車1台をいう。)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第84条 (第84-4-4) 代替再循環運転 - 格納容器スプレイポンプ(B、代替再循環配管使用)による代替再循環運転-	モード3, 4, 5および06	・格納容器スプレイポンプ(B、代替再循環配管使用)による代替再循環系が動作可能であること (動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できることという。)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
重大事故等対応設備	第84条 (第84-4-5) 代替再循環運転 - 格納容器再循環装置サンプB隔離弁/バイパスによる代替再循環-	モード3, 4, 5および06	・格納容器再循環装置サンプB隔離弁/バイパスが閉弁できること	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	第84条 (第84-4-6) 代替再循環運転 - 高圧注入ポンプ(B、海水冷却)による代替再循環-	モード3, 4, 5および06	・高圧注入ポンプ(B、海水冷却)による高圧再循環系が動作可能であること (動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
重大事故等対応設備	第84条 (第84-5-1) 加圧器送りがし弁による高圧	モード3	・高圧ポンプ(加圧器送りがし弁)および加圧器送りがし弁用可搬型蓄電池を使用した加圧器送りがし弁による1次冷却系統の高圧系が動作可能であること	×														×
	第84条 (第84-6-1) 原子炉格納容器スプレイおよびスプレイ再循環	モード3, 4, 5および06	・原子炉格納容器スプレイ系(よう善除き装置タンクを除く)およびスプレイ再循環系(1系統以上)が動作可能であること (動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できることという。)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 格列 ▽ RCS降溫 R/V開放 燃料取出 燃料挿荷 各種試験 並列 ▽ 出力上昇試験 </div>															
RCS水位		<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 燃料取出 1次系弁機器点検 R/V復旧 各種試験 起動試験 </div>															
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2	6-2	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対応設備	第84条 (第84-6-2) 代替原子炉格納容器原子炉格納	モード3, 4, 5および6	・代替格納容器スプレイトンブによる代替原子炉格納容器スプレイトンブが動作可能であること														
		モード3, 4, 5および6	・原子炉格納冷却水系による原子炉格納容器内自然対流冷却系が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)														
		モード3, 4, 5および6	・中型ポンプ車による海水供給系が動作可能であること														
		モード3, 4および5(1次冷却系排水)	・補助給水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系(系統に限り電動補助給水ポンプと台で1系統とする)が動作可能であること(動作可能とは、ポンプが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。)														
第84条 (第84-8-1) 2次冷却系からの除熱(注水)	モード3および4(蒸気発生器が除熱のために使用されている場合)	モード3および4(蒸気発生器が除熱のために使用されている場合)	・タービン動補助給水ポンプ ・タービン動補助給水ポンプ蒸気入口弁														
		モード3および4(蒸気発生器が除熱のために使用されている場合)	・主蒸気遠がし弁														
第84条 (第84-10-1) 水素濃度低減	モード3, 4, 5および6	モード3, 4, 5および6	・静的陸揚式水素再結合装置 ・静的陸揚式水素再結合装置作動温度計測装置 ・イクナタイト作動温度計測装置 ・イクナタイト非常用ガススタービン発電機または空冷式非常用発電装置														
		モード3, 4, 5および6	・静的陸揚式水素再結合装置 ・静的陸揚式水素再結合装置作動温度計測装置 ・イクナタイト作動温度計測装置 ・イクナタイト非常用ガススタービン発電機または空冷式非常用発電装置														

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

RCS水位		主要工程		検査項目														
RCS水位		キャビティ・満水 RCS満水 ミッドグループ RCS全プロロー		RCS降速 R/V開放			燃料取出 1次系弁機器点検			燃料減荷 R/V復旧			各種試験			並列 出力上昇試験 起動試験		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	6-2	6-1	5-2	5-1	4	5-1	4	3
重大事故等対応設備	第84条 (第84-10-2) 水温監視	モード3, 4, 5および6	格納容器水温監視装置等による水温監視系が動作可能であること															
第84条 (第84-11-1) 水素排出		モード3, 4, 5および6	格納容器空気系1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ファンが手動起動(系統構成含む)でできること、または運転中であることという。) ・代替空気(窒素)系統が動作可能であること(窒素ポンプを含む)															
第84条 (第84-11-2) アニユラス水素濃度監視		モード3, 4, 5および6	アニユラス水素濃度(AM)計測装置の所要数が動作可能であること															
第84条 (第84-12-1) 中型ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水		使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	中型ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水2系統が動作可能であること															
第84条 (第84-12-2) 使用済燃料ピットへのスプレイ		使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	使用済燃料ピットへのスプレイが2個動作可能であること(使用済燃料ピット広域水位(AM)が動作可能であれば動作不能とはみなさない。) ・使用済燃料ピット温度(AM)が2個動作可能であること ・使用済燃料ピット監視カメラ(使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備含む)が1個動作可能であること ・使用済燃料ピット広域水位(AM)が2個動作可能であること ・可搬型使用済燃料ピットエリアモニタが2個動作可能であること ・非常用ガスタービン発電機または空冷式非常用発電装置による電源系が動作可能であること															
第84条 (第84-12-3) 使用済燃料ピットの監視		使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	使用済燃料ピット水位(AM)後出、伝送ライン ・使用済燃料ピット温度(AM)後出、伝送ライン ・使用済燃料ピット監視カメラ(使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備含む) ・使用済燃料ピット広域水位(AM)後出、伝送ライン ・可搬型使用済燃料ピットエリアモニタ ・非常用ガスタービン発電機 ・非常用発電装置 ・空冷式非常用発電装置 ・重油タンク ・ミニローリー															
第84条 (第84-13-1) 大気への拡散抑制、航空機燃料火災への泡消火		モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	大型ポンプ車(泡混合機能付)、または大型ポンプ車および泡混合器ならびに大型放水車による放水系1系統が動作可能であること(1系統とは、大型ポンプ車(泡混合機能付)1台、または大型ポンプ車1台および泡混合器1台ならびに大型放水車1台をいう。)															

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位		RCS降溫		R/V開放		燃料取出		燃料調整		各種試験		並列		
		キヤビティ満水		RCS満水		R/V開放		燃料取出		燃料調整		各種試験		並列		
		ミッドループ		RCS満水		R/V開放		燃料取出		燃料調整		各種試験		並列		
		RCS全ブロー		RCS満水		R/V開放		燃料取出		燃料調整		各種試験		並列		
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2	6-2	5-1	4	5-1	4	3
重大事故等対処設備	第84条 (表84-13-2) 使用済燃料ピットに燃料池への拡散抑制を貯蔵している期間	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料池への拡散抑制を貯蔵している期間	所要数が使用可能であること													
	第84条 (表84-14-1) 補助給水タンクへの補給	モード3, 4, 5および6	・中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給系が動作可能であること													
	第84条 (表84-14-2) 燃料取替用水タンク	モード3, 4, 5および6 (キヤビティ低水位)	・燃料取替用水タンク水量(有効水量)が1,700m ³ 以上であること(原子炉キヤビティ水張り, 水抜き期間においては, 第84条に定める水準および炉心注水手段等が確保されていることを条件に, 運転上の制限を満足していないとはみなさない。 ・原子炉キヤビティ水張り期間とは, 原子炉キヤビティ水張り作業開始から水張り完了までの期間をいう。また, 原子炉キヤビティ水抜き期間とは, 原子炉キヤビティ水抜き作業開始から燃料取替用水タンク水位を回復するまでの期間をいう。)													
	第84条 (表84-14-3) 補助給水タンク	モード3, 4, 5および6	・補助給水タンク水量(有効水量)が610m ³ 以上であること													
	第84条 (表84-15-1) 非常用ガスタービン発電機または空冷式非常用発電装置からの給電	モード3, 4, 5および6	・非常用ガスタービン発電機による電源系が動作可能であること, および非常用ガスタービン発電機燃料油貯油槽の容量が364kL以上であること または ・空冷式非常用発電装置による電源系が動作可能であること													
	第84条 (表84-15-2) 300kVA電源車からの給電	モード3, 4, 5, 6以外で使用済燃料ピットに燃料池を貯蔵している期間	・非常用ガスタービン発電機が動作可能であること, および非常用ガスタービン発電機燃料油貯油槽の容量が364kL以上であること または ・空冷式非常用発電装置による電源系が動作可能であること													
	第84条 (表84-15-3) 蓄電池(非常用)および蓄電池(重大事故等対策用)および蓄電池(3系統目)からの給電	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料池を貯蔵している期間	・蓄電池(非常用)からの電源系1系統以上が動作可能であること ・蓄電池(重大事故等対策用)からの電源系1系統以上が動作可能であること ・蓄電池(3系統目)からの電源系が動作可能であること													
	第84条 (表84-15-4) 可搬型直流電源装置(75kVA電源車)および可搬型直流電源装置(75kVA電源車)および可搬型直流電源装置(75kVA電源車)からの給電	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料池を貯蔵している期間	・可搬型直流電源装置(75kVA電源車)および可搬型直流電源装置(75kVA電源車)からの電源系2系統が動作可能であること(1系統とは, 75kVA電源車1台および可搬型直流電源装置1台をいう。)													

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 系列 ▽ RCS降溫 R/V開放 </div> <div style="text-align: center;"> 燃料取出 R/V覆旧 1次系弁機器点検 </div> <div style="text-align: center;"> 燃料攜帶 各種試験 出力上昇試験 起動試験 </div> <div style="text-align: center;"> 並列 ▽ </div> </div>														
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	5-1	4	5-1	4	3	
重大事故等対応設備	第84条 (第84-15-5) 代用所内電気設備(代替電気設備) 代用所内電気設備(代替電気設備) 非常用発電機 非常用発電機 非常用発電機 非常用発電機 非常用発電機 非常用発電機 非常用発電機	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 代用所内電気設備からの給電系が使用可能であること 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		モード3, 4, 5および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	<ul style="list-style-type: none"> 重油タンク、軽油タンクおよびミニローリーによる燃料供給系が使用可能であること 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
		モード3, 4, 5および6	<ul style="list-style-type: none"> (1) 原子炉容器内の温度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器満たし後直後に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみみなさない。) 1次冷却炉高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること 1次冷却炉低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること 炉心出口温度が1チャンネル動作可能であること(多様性抵禦設備であり、運転上の制限は適用しない。) 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
第84条 (第84-16-1) 計器設備	第84条 (第84-16-1) 計器設備	モード3, 4, 5および6	<ul style="list-style-type: none"> (2) 原子炉容器内の圧力(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器満たし後直後に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみみなさない。) 1次冷却炉圧力が1チャンネル動作可能であること 加圧器圧力が1チャンネル動作可能であること(多様性抵禦設備であり、運転上の制限は適用しない。) 1次冷却炉高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 1次冷却炉低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		モード3, 4, 5および6	<ul style="list-style-type: none"> (3) 原子炉容器内の水位(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器満たし後直後に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足しないとはみみなさない。) 加圧器水位が1チャンネル動作可能であること 原子炉容器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 1次冷却炉圧力が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
		モード3, 4, 5および6	<ul style="list-style-type: none"> 加圧器水位検出、伝送ライン 原子炉容器水位検出、伝送ライン 1次冷却炉圧力検出、伝送ライン 1次冷却炉高温側温度(広域)検出、伝送ライン 1次冷却炉低温側温度(広域)検出、伝送ライン 	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		並列 ▽ RCS降溫 R/V開放 燃料取出 燃料装荷 各種試験 出力上昇試験																
RCS水位		起動試験 R/V復旧 1次系弁機器点検																
項目	保安規定条文 (第84条 (第84-16-1) 計装設備)	要求モード モード3, 4, 5および6	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	5-1	5-2	4	5-1	4	3		
重大事故等対応設備	(4) 原子炉格納容器への注水量(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい事後査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること ・格納容器スプレイレイン流量が1チャンネル動作可能であること ・格納容器スプレイレイン流量が1チャンネル動作可能であること ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること と、 ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・燃料除去ループ流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・補助給水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材圧力が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・1次冷却材低溫側(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) (5) 原子炉格納容器への注水量(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい事後査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器スプレイレイン流量が1チャンネル動作可能であること ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であること と、 ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること ・燃料除去ループ流量が1チャンネル動作可能であること ・格納容器スプレイレイン流量が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・燃料取替用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) (6) 原子炉格納容器内の温度(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい事後査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) (7) 原子炉格納容器内の圧力(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏えい事後査時に計器保護のため隔離している場合等は、運転上の制限を満足していないとはみなさない。) ・格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器内圧力(AM)が1チャンネル動作可能であること ・格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)	関連設備	・高圧注入ライン流量後出、伝送ライン ・燃料除去ループ流量後出、伝送ライン ・格納容器スプレイレインB積算流量後出、伝送ライン ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)後出、伝送ライン ・高圧注入ライン流量後出、伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位後出、伝送ライン ・格納容器内圧力(広域)後出、伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位後出、伝送ライン ・原子炉格納容器内圧力(AM)後出、伝送ライン ・格納容器内温度後出、伝送ライン ・高圧注入ライン流量後出、伝送ライン ・補助給水タンク水位後出、伝送ライン ・1次冷却材圧力後出、伝送ライン ・1次冷却材低溫側(広域)後出、伝送ライン ・格納容器スプレイレインB積算流量後出、伝送ライン ・代替格納容器スプレイレイン積算流量(AM)後出、伝送ライン ・高圧注入ライン流量後出、伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位後出、伝送ライン ・格納容器内圧力(広域)後出、伝送ライン ・燃料取替用水タンク水位後出、伝送ライン ・格納容器内圧力(AM)後出、伝送ライン ・格納容器内温度後出、伝送ライン ・高圧注入ライン流量後出、伝送ライン ・補助給水タンク水位後出、伝送ライン ・1次冷却材圧力後出、伝送ライン ・1次冷却材低溫側(広域)後出、伝送ライン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文 (表64-16-1) 計装設備	要求モード モード3, 4, 5および6	RCS水位	主要工程																									
				RCS水位																									
				<p>並列 V RCS降溫 R/V開放 燃料取出 燃料線荷 R/V復旧 各種試験 出力上昇試験</p>																									
				<p>並列 V 出力上昇試験 各種試験 燃料線荷 R/V復旧 各種試験 出力上昇試験</p>																									
重大事故等対応設備	第84条 (表64-16-1) 計装設備	モード3, 4, 5および6	RCS水位	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	5-1	4	5-1	4	3													
<p>要求内容</p> <p>(13) 最終ヒートシンクの確保(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏れ事後復旧に計器保護のため隔離している場合は、運転上の制限を満足しないとはみさない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 格納容器内圧力(広域)が1チャンネル動作可能であること 原子炉格納冷却水サージタンク水位が1チャンネル動作可能であること 格納容器再循環ユニット入口温度および格納容器再循環ユニット出口温度が1チャンネル動作可能であること 主蒸気ライン圧力が1チャンネル動作可能であること 蒸気発生器換熱水位が1チャンネル動作可能であること 蒸気発生器広域水位が1チャンネル動作可能であること 補助給水ライン流量が1チャンネル動作可能であること 主蒸気ライン流量が1チャンネル動作可能であること 原子炉格納冷却水サージタンク広域圧力が1チャンネル動作可能であること (多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) 格納容器再循環ユニットA, B冷却水流量が1チャンネル動作可能であること (多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) 格納容器内圧力(AM)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 格納容器内温度が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 原子炉格納冷却水サージタンク加圧ライン圧力が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 1次冷却材低溫側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) <p>(14) 格納容器ハイスの監視(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器漏れ事後復旧に計器保護のため隔離している場合は、運転上の制限を満足しないとはみさない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器換熱水位が1チャンネル動作可能であること 主蒸気ライン圧力が1チャンネル動作可能であること 1次冷却材圧力が1チャンネル動作可能であること 補助建屋排気筒ガスマニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) 補助建屋サブタンク水位が1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) 蒸気発生器広域水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 補助給水ライン流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 格納容器再循環ユニットA, B冷却水流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 1次冷却材低溫側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 加圧器水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) 				関連設備	格納容器内圧力(広域)後出, 伝送ライン ・原子炉格納冷却水サージタンク水位後出, 伝送ライン ・原子炉格納冷却水サージタンク広域圧力後出, 伝送ライン ・格納容器再循環ユニットA, B冷却水流量後出, 伝送ライン ・格納容器再循環ユニット出口温度後出, 伝送ライン ・主蒸気ライン圧力後出, 伝送ライン ・蒸気発生器換熱水位後出, 伝送ライン ・補助給水ライン流量後出, 伝送ライン ・主蒸気ライン流量後出, 伝送ライン ・格納容器内圧力(AM)後出, 伝送ライン ・格納容器内温度後出, 伝送ライン ・原子炉格納冷却水サージタンク加圧ライン圧力後出, 伝送ライン ・1次冷却材低溫側温度(広域)後出, 伝送ライン ・1次冷却材高温側温度(広域)後出, 伝送ライン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×											
				<ul style="list-style-type: none"> 蒸気発生器換熱水位後出, 伝送ライン 主蒸気ライン圧力後出, 伝送ライン 1次冷却材圧力後出, 伝送ライン 補助建屋排気筒ガスマニタ後出, 伝送ライン 補助建屋サブタンク水位後出, 伝送ライン 補助建屋サブタンク出口圧力後出, 伝送ライン 蒸気発生器広域水位後出, 伝送ライン 補助給水ライン流量後出, 伝送ライン 格納容器再循環ユニットA, B冷却水流量後出, 伝送ライン 1次冷却材高温側温度(広域)後出, 伝送ライン 1次冷却材低溫側温度(広域)後出, 伝送ライン 加圧器水位後出, 伝送ライン 											×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

項目	保安規定条文 (第84条 (第84-16-1) 計装設備)	RCS水位	要求モード モード3, 4, 5および6	主要工程 キャビティ満水 RCS満水 ミッドグループ RCS全プロロー	燃料取出														
					RCS降溫			R/V開放		燃料取出		燃料線荷		各種試験			並列		
					3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	6-2外	5-1	4	5-1	4	3			
重大事故等対応設備	第84条 (第84-16-1) 計装設備	RCS水位	モード3, 4, 5および6	要求内容 (15) 水源の確保(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容器を満すに 足らないとみなさない) ・燃料取扱用水タンク水位が1チャンネル動作可能であること ・補助給水タンク水位が1チャンネル動作可能であること ・格納容器再循環ポンプ水位(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パ ラメータ) ・格納容器スプレイレイン中積算流量が1チャンネル動作可能であること(代替パ ラメータ) ・高圧注入ライン流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・余熱除去ルーブ流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・代管格納容器スプレイレイン積算流量(AM)が1チャンネル動作可能であるこ と(代替パラメータ) ・補助給水ライン流量が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・出力領域中性子束が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・中間領域中性子束が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・線源領域中性子束が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ)(P-6 以上において、線源領域中性子束は電源切となるが運転上の制限を満足して いないとはみなさない) (1) 格納容器バイパスの監視(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格 納容器を満すに足らないとみなさない)の場合等は、運転上の制限を 満足していないとはみなさない。 ・復水器排気ガスモニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備で あり、運転上の制限は適用しない) ・蒸気発生器プロローダウモンタが1チャンネル動作可能であること(多様性 拡張設備であり、運転上の制限は適用しない) ・高圧度型主蒸気管モニタが1チャンネル動作可能であること(多様性拡張設備 であり、運転上の制限は適用しない) ・蒸気発生器環境水位が1チャンネル動作可能であること(代替パラメータ) ・主蒸気ライン圧力が1チャンネル動作可能であること(代替パラ メータ)	関連設備 ・燃料取扱用水タンク水位検出、伝送ライン ・補助給水タンク水位検出、伝送ライン ・格納容器再循環ポンプ水位(広域)検出、 伝送ライン ・格納容器スプレイレイン中積算流量 検出、伝送ライン ・高圧注入ライン流量検出、伝送ライン ・余熱除去ルーブ流量検出、伝送ライン ・代管格納容器スプレイレイン積算流量 (AM)検出、伝送ライン ・補助給水ライン流量検出、伝送ライン ・出力領域中性子束検出、伝送ライン ・中間領域中性子束検出、伝送ライン ・線源領域中性子束検出、伝送ライン														
			モード3および4	(1) 原子炉容器内の水位(プラント起動時に伴う計器校正および原子炉格納容 器を満すに足らないとみなさない)の場合等は、運転上の制限を 満足していないとはみなさない。 ・R/Vプラント下水位(RCS/スルセンター水位)(多様性拡張設備であり、運 転上の制限は適用しない) ・1次冷却材高温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラ メータ) ・1次冷却材低温側温度(広域)が1チャンネル動作可能であること(代替パラ メータ) ・可搬型計測器が35台動作可能であること	・RCS水位計 ・1次冷却材高温側温度(広域)検出、伝送 ライン ・1次冷却材低温側温度(広域)検出、伝送 ライン														
	第84条 (第84-16-2) 可搬型計測器		モード3, 4, 5および6	・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口/出口用)が1式動作可 能であること ・SPDS表示端末が1台動作可能であること ・安全パラメータ表示システムが1系列動作可能であること	・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユ ニット)入口/出口用) ・SPDS表示端末 ・安全パラメータ表示システム														
	第84条 (第84-16-3) 記録設備		モード3, 4, 5および6	・中央制御室非常用循環系1系統以上が動作可能である こと(動作可能とは、ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転 中であること等)。 ・中央制御室非常用格納容器フィルタユニット ・中央制御室非常用可搬型照明	・中央制御室非常用給気ファン ・中央制御室非常用ファン ・中央制御室非常用格納容器フィルタユニット ・中央制御室非常用可搬型照明														
	第84条 (第84-17-1) 中央制御室居住 性の確保および 汚染の持ち込み 防止		モード3, 4, 5, 6および 使用済燃料ピットに燃料 体を貯蔵している期間	・二酸化炭素濃度計 ・非常用ガスタービン発電機または空冷式 非常用発電装置	・二酸化炭素濃度計 ・非常用ガスタービン発電機または空冷式 非常用発電装置														

伊方発電所第3号機 第16回定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		検査項目											
RCS水位		検査項目											
項目	保安規定条文	要求モード	要求内容	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モト外	各種試験	出力上昇試験	
重大事故等対応設備	第84条 (第84-17-2) 中央制御室放射 性物質の濃度低 減	モード3, 4, 5および6	アニュラス空気浄化系1系統以上が動作可能であること(動作可能とは、ファンが手動起動(系統構成含む)できること、または運転中であることをいう。) 代替空気(置素)系統が動作可能であること(置素ポンプ含む)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (第84-18-1) 監視測定設備	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	(1)放射線物質の濃度および燃料量の測定 ・可換型代替モニタが5個動作可能であること ・可換型モニタが5個動作可能であること ・GM汚染サーベイメータが1個動作可能であること ・GM汚染サーベイメータが1個動作可能であること ・NaIシンチレーションサーベイメータが1個動作可能であること ・ZnSシンチレーションサーベイメータが1個動作可能であること ・電離箱サーベイメータが1個動作可能であること ・小型船舶が使用可能であること (2)風向、風速その他の気象条件の測定 ・可換型気象観測設備が1個動作可能であること	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (第84-19-1) 緊急時対策所代替蓄文流電源からの給電	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	緊急時対策所代替蓄文流電源が2台動作可能であること	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (第84-19-2) 緊急時対策所居住性の確保	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	緊急時対策所空気浄化系1系統以上が動作可能であること(1系統とは、緊急時対策所空気浄化ファン1台および緊急時対策所空気浄化フィルタユニット1基をいう。) ・緊急時対策所加圧装置(空気ポンプ)の所要数が使用可能であること ・酸素濃度計および二酸化炭素濃度計の所要数が使用可能であること ・緊急時対策所エリアモニタの所要数が動作可能であること	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (第84-20-1) 通信連絡を行うために必要な設備	モード3, 4, 5, 6および使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	衛星電話設備が2台動作可能であること(12台は固定型4台および可換型8台をいう。) ・無線通信設備が4台動作可能であること ・緊急時用携帯型通信設備が13台動作可能であること ・SPDS表示端末が1台動作可能であること ・安全パラメータ表示システムが1系列動作可能であること(安全パラメータ表示システムについては、A系またはB系のいずれかにより有線系、無線系または衛星系回線で所内および所外へ伝送可能であることをいう。) ・テレビ会議システムが1系列動作可能であること(統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備については、テレビ会議システム、IP-電話、IP-ファックスのいずれかにより通信可能であること(統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備については、テレビ会議システム、IP-電話、IP-ファックスのいずれかにより通信可能であることをいう。))	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	第84条 (第84-21-1) 中型ポンプ車	モード3, 4, 5および6	・中型ポンプ車が6台動作可能であること	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		モード3, 4, 5および6以外で使用済燃料ピットに燃料体を貯蔵している期間	・中型ポンプ車が2台動作可能であること										



添付書類六 保全の有効性評価の結果に関する説明書

目 次

I. 保全の有効性評価の結果	1
別紙-1 保全の有効性評価結果について	
別紙-2 保全の有効性評価の結果等により保全へ反映した事項について	
参 考 保全活動管理指標の実績について	

I. 保全の有効性評価の結果

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については別紙－１のとおり。これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは別紙－２のとおり。

保全の有効性評価結果について

施設管理内規、品質保証総括内規等に基づき、有効性評価を実施した。

分類1	定期的な評価のインプット		総合評価
	分類2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2019.10.1～ 2022.12.31	すべての指標は目標値以内であり保全が有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MFFF: 2019.10.1～ 2022.12.31 UA: 2017.8.1～ 2022.12.31	原子炉格納施設における「MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能」のMPFF回数が目標値を超過したため、作業手順の見直しをおこなった。 外部電源系統における「PS-3④電源供給機能【LCO】」のUA時間が目標値を超過したが、これは保安規定第88条に規定されている予防保全を目的とした点検を計画的に実施したことによるものであるため、点検計画の見直しは不要と評価した。 その他の指標は目標値以内であり保全が有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検手入れ前データ、状態監視データ、運転データ	2019.11.6～ 2022.12.31	過去の点検手入れ前データ、状態監視データ、運転データについてデータの推移及び経年劣化の長期的な傾向について評価を行った結果、別紙-2のとおり点検計画へ反映した。
c. トラブルなどの運転経験	④当該号機のトラブル及び不適合	2019.11.6～ 2022.12.31	不適合情報を用いて評価を行った結果、別紙-2のとおり点検計画へ反映した。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤当該号機の高経年化技術評価及び安全性向上評価	2019.11.6～ 2022.12.31	当該号機では前サイクルに高経年化技術評価を実施していない。 当該号機の安全性向上評価(原子力発第22174号)の結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ	⑥社内他号機の不適合情報	2019.11.6～ 2022.12.31	当社他号機の不適合情報について評価を行った結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報(NUC I A情報)	2019.11.6～ 2022.12.31	国内他プラントのトラブル情報及び保全品質情報について評価を行った結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑧海外情報	2019.11.6～ 2022.12.31	NRC情報、INPO情報等について評価を行った結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑨通達等の文書	2019.11.6～ 2022.12.31	評価を行った結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
f. リスク情報、科学的知見	⑩リスク情報	2019.11.6～ 2022.12.31	評価を行った結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑪電力共同研究・技術開発	2019.11.6～ 2022.12.31	評価を行った結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
g. その他	⑫傾向管理情報	2019.11.6～ 2022.12.31	運転監視及び燃料管理による情報について評価を行った結果、点検計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑬その他自主的な取り組み	2019.11.6～ 2022.12.31	自主的な取り組みとして、別紙-2のとおり点検計画へ反映した。

保全の有効性評価の結果等により保全へ反映した事項について

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	イン プット 情報の 項目※	事象の概要	評価内容	
-	なし	-	-	-	-	-	-	-

※ : インプット情報は別紙-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
1	海水ポンプ 軸受潤滑 水非常用補給弁3C駆 動部 (3V-SW-634C(D)) 海水ポンプ 軸受潤滑 水非常用補給弁3D駆 動部 (3V-SW-634D(D))	分解放点検 (駆動部)	10C	20C	③	点検の結果、劣化が認められなかつた。	周期を延長することは妥当と判断した。	①	—
2	第2低圧給水加熱器 3A (2HTR-3A) 第2低圧給水加熱器 3B (2HTR-3B)	開放点検 非破壊試験 漏えい試験	4C 4C 4C	2C 2C 2C	④	2019年12月26日 復水系統水圧試験時に第2低圧給水加熱器3Bの胴側からのドレン量が他の同系統機器と比較して多いことを確認した。このため、当該機器の追加点検を実施した。この際に一部伝熱管の劣化が激しいことを確認し、保修を実施した。	左記のとおり、追加点検および保修作業を実施した結果、劣化の兆候が見られなかった。このため、監視強化を目的として点検周期を20とすることは妥当と判断した。	①	125 2次系熱交換器検査

※：インプット情報は別紙-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 類似機器等の使用実績による評価
- ④ 研究成果等による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
3	格納容器水素パージ給気タンク第1隔離弁3A (3V-HC-305A)	分解点検 (弁本体) 機能・性能試験	10C 10C	30C 30C	③	点検の結果、劣化が認められなかった。	①	84 1次系弁検査	
4	47*+473A (3HBE1A) 47*+473B (3HBE1B) 47*+473C (3HBE1C) 47*+473D (3HBE1D) 47*+473E (3HBE1E) 47*+473F (3HBE1F) 47*+473G (3HBE1G) 47*+473H (3HBE1H) 47*+473I (3HBE1I) 47*+473J (3HBE1J) 47*+473K (3HBE1K) 47*+473L (3HBE1L)	機能・性能試験	1C	2C	③	点検の結果、劣化が認められなかった。	① ④	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	

※：インプット情報は別紙-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 類似機器等の使用実績による評価
- ④ 研究成果等による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容				評価			4つの評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容				
		項目	変更前				変更後			
5	イナハイ3M (3HBE1M)	機能・性能試験	1C	4C	③	点検の結果、劣化が認められなかった。	本機器は通常「切」状態であり、劣化事象は非常に穏やかなものである。また、設置時からこれまでの点検において劣化は認められていない。以上のことを踏まえ、当該機器が予備機であることも考慮し、点検による通電頻度を減らし延命化を図るため、周期を4Cへ延長することを妥当と判断した。	① ④	51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
6	空冷式非常用発電装置3号 (1825kGEN3) 空冷式非常用発電装置4号 (1825kGEN4)	分解点検 分解点検 (発電機) 機関取替	52M — —	— 10Y 10Y	③	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	分解点検について、点検項目を分解点検(発電機)と機関取替に見直した。発電機の分解点検周期については、軸受寿命評価から10年以上の延長可能との結果が得られた。機関取替周期については、製作メーカーによる類似製品の実績調査から10年以上の延長可能との結果が得られた。各点検項目について52Mから10Yへ変更することは妥当と判断した。	③	157-その他非常用発電装置の分解検査	

※：インプット情報は別紙1-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 類似機器等の使用実績による評価
- ④ 研究成果等による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
7	焼却炉排気筒じんあ いモータ検出器 (1RE-Z501) 焼却炉排気筒ガステー タ検出器 (1RE-Z502) 焼却炉建家排気ロジ んあいモータ検出器 (1RE-Z504) 焼却炉建家排気ロガ ステータ検出器 (1RE-Z505) 焼却灰取出室エアステー タ検出器 (1RE-Z507) 前処理室エアステータ検出 器 (1RE-Z508) 焼却炉建家内制御室 エアステータ検出器 (1RE-Z509)	検出器点検	13M	1Y	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	焼却炉の放射線監視装置検出器の点検と盤関係の点検では周期が異なる。 検出器および盤の点検時期を合わせた方が合理的であることから、検出器点検の周期を盤点検の周期に合わせるものである。既存の周期を起えない同等の周期に変更するものであり、この変更は妥当と判断した。	①	76 放射線監視装置機能検査

※：インプット情報は別紙-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 類似機器等の使用実績による評価
- ④ 研究成果等による評価

保全活動管理指標の実績について

1. プラントレベル(採取期間:2019年10月1日～2022年12月31日)

指 標	目 標 値	実 績 値
計画外原子炉自動・手動トリップ回数	<1回/7000臨界時間	0回
計画外出力変動回数	<2回/7000臨界時間	1回
工学的安全施設の計画外作動回数	<1回/サイクル	0回

参 考

2. 系統レベル (採取期間: MPFF 2019年10月1日～2022年12月31日、UA時間 2017年8月1日～2022年12月31日)

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPFF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
1次冷却材系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	<1回	0回	-	-	●他の系統に属する原子炉冷却材圧力バウンダリ機器についてもこの指標で管理する。
	PS-1②過剰反応度の印加防止機能	<1回	0回	-	-	
	PS-1③炉心形状の維持機能	<1回	0回	-	-	
	MS-1①原子炉の緊急停止機能	<1回	0回	0時間	0時間	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	0時間	0時間	
	MS-1③原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	<1回	0回	0時間	0時間	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	-	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2④安全弁・逃がし弁の吹き止まり機能	<1回	0回	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	【加圧器逃がし弁】 <1回 【加圧器逃がし弁元弁、加圧器後備弁】 <2回	【加圧器逃がし弁】 0回 【加圧器逃がし弁元弁、加圧器後備弁】 0回	<72時間/各逃がしライン <72時間/各ヒータ系統	0時間/各逃がしライン 0時間/各ヒータ系統	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】※1	<2回	0回	-	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】※1	<2回	0回	-	-	
	MS-3③原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】※1	<2回	0回	モータ1～3 <72時間/各逃がしライン モータ4～6 <24時間	モータ1～3 0時間/各逃がしライン モータ4～6 0時間	

※1 要求機能における【LCO】の表記は、クラス3の機能のうち、原子炉施設保安規定の運転上の制限に関連する機能を示す。以下、本表において同様。

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[サイクルあたり]	実績値	目標値[サイクルあたり]	実績値	
化学体積制御系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	<240時間 各トリン同時 0時間	0時間 各トリン同時 0時間	
	MS-1③放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1③指標で管理する。
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<2回	0回	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<240時間	0時間	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能[LCO]	<2回	0回	-	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能[LCO]	<2回	0回	-	-	
	冷却材補給機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	安全注入系統	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	<240時間/各トリン 各トリン同時 0時間	0時間/Aトリン 7時間53分/Bトリン 各トリン同時 0時間
MS-1③炉心冷却機能		<1回	0回	<1時間/各蓄圧タンク タンク2基以上同時 0時間 <240時間/各トリン 各トリン同時 0時間	0時間/各蓄圧タンク タンク2基以上同時 0時間 0時間/Aトリン 7時間53分/Bトリン 各トリン同時 0時間	
MS-1④放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】		-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1④指標で管理する。
MS-1⑤放射性物質の閉じ込め機能、放射線の流れへの放出低減機能		<1回	0回	<240時間/各トリン 各トリン同時 0時間	0時間/各トリン 各トリン同時 0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
余熱除去系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	-	-	
	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	0回	<240時間/各トリン 同トリン同時 0時間	0時間/各トリン 同トリン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<1回	0回	-	-	
	余熱除去系統への漏えい監視機能	<2回	0回	-	-	
	MS-1⑩放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
	MS-1⑪放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トリン 同トリン同時 0時間 <72時間/バンク	0時間/各トリン 同トリン同時 0時間 0時間/バンク	●消火設備系統のアクシデントマネジメント機能【格納容器消火水スプレー注水】も含む。
	MS-3④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<72時間/バンク	0時間/バンク	
	MS-1⑬放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	<1回	1回	<4時間/各原子炉格納容器隔離弁 <24時間/各エアロック	0時間/各原子炉格納容器隔離弁 0時間/各エアロック	●他の系統に属する格納容器バウンダリ機器についてもこの指標で管理する。
原子炉格納施設	MS-1⑭放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	-	-	
	PS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	0回	-	-	
使用済燃料ピット冷却系統	PS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	0回	-	-	
	PS-3⑧放射性物質を貯蔵する機能【開 接関連系】ILCO】	<2回	0回	-	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
燃料取扱設備	FS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	0回	-	-	
	FS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	0回	-	-	
	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	0回	-	-	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	<1時間	0時間	
	MS-1⑥炉心冷却機能	<1回	0回	<1時間	0時間	
燃料取替用水系統	MS-1①放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器ハウジング】	-	-	-	-	●格納容器ハウジング機器については、原子炉格納施設のMS-1①指標で管理する。
	MS-1①放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<1時間	0時間	
	MS-2①使用済燃料ピットの補給機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<72時間/各ライン	0時間/各ライン	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器ハウジング】	-	-	-	-	●格納容器ハウジング機器については、原子炉格納施設のMS-1①指標で管理する。
主給水系統	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<72時間/各ライン	0時間/各ライン	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<6時間/各安全弁 <8時間/各ライン隔離 <168時間/各透かしライン <240時間/各蒸気弁	0時間/各安全弁 0時間/各ライン隔離 0時間/各透かしライン 0時間/各蒸気弁	
	MS-1①放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器ハウジング】	-	-	-	-	●格納容器ハウジング機器については、原子炉格納施設のMS-1①指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<168時間/各透かしライン <8時間/各ライン隔離 <8時間/各逆止弁	0時間/各透かしライン 0時間/各ライン隔離 0時間/各逆止弁	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	0回	<720時間	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
補助給水系統	MS-1①原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<240時間/各系統 2系統以上 0時間 <168時間/タンク	0時間/各系統 2系統以上 0時間 0時間/タンク	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<240時間/各ライン	0時間/各ライン	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
2次系純水系統	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
	MS-1①原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<240時間/各ライン	0時間/各ライン	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<240時間/各ライン	0時間/各ライン	
蒸気発生器ブローダウン系統	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能[LCO]	<2回	0回	-	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1④安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<240時間/各ライン 両ライン同時 0時間 隔離機能 <240時間	0時間/各ライン 両ライン同時 0時間 隔離機能 0時間	●空調用冷水設備系統のアクションマネジメント機能【代替補機冷却】も含む。
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
原子炉補機冷却水系統	PS-3②原子炉冷却材の循環機能 【LCO】	<2回	0回	-	-	
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	0回	-	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPFF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[サイクルあたり]	実績値	目標値[サイクルあたり]	実績値	
原子炉補機冷却海水系統	MS-1①安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<105時間/各トリン 両トリン同時 0時間	0時間/Aトリン 9時間06分/Bトリン 両トリン同時 0時間	●海水ピットを含む。
気体廃棄物処理系統	FS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	0回	-	-	●格納容器バウンダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
液体廃棄物処理系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
	1次冷却材漏えい率監視機能	<2回	0回	-	-	
原子炉補給水系統 (純水)	FS-3②原子炉冷却材の循環機能 【LCO】	<2回	0回	-	-	
原子炉補給水系統 (脱塩水)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
制御用空気系統	MS-1④安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<72時間/各トリン	0時間/Aトリン 0時間/Bトリン	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<240時間	0時間	●制御用空気系統のMS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能の直接関連系も含む。
所内用空気系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
消火設備系統	アクシデンタルマネジメント機能 【格納容器消火スプレイ注水】	<2回	0回	<720時間	0時間	●格納容器スプレイ系統の主配管から、スプレイ系統側の接続配管もこの指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器について、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器換気空調系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(2ヶ月前あたり)	実績値	目標値(2ヶ月前あたり)	実績値	
アニエラス空気浄化系統	MS-1①放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トリン 同トリン同時 0時間	0時間/各トリン 同トリン同時 0時間	
	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	0回	<240時間/各トリン 同トリン同時 0時間	0時間/各トリン 同トリン同時 0時間	
	MS-1③放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トリン 同トリン同時 0時間	0時間/各トリン 同トリン同時 0時間	
	MS-2④放射線物質放出の防止機能	<2回	0回	<240時間/各トリン	0時間/各トリン	
	補助建屋換気空調系統	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<1回	0回	DC室、電動補助給水ポンプ室、制御用空気圧縮機室 <240時間/各トリン/各室 同トリン同時 <72時間/各室 タービン電動補助給水ポンプ室、安全補機閉閉器室 同トリン同時 <72時間/各室	DC室 78時間51分/各トリン 13時間09分/各トリン 同トリン同時 2時間43分 電動補助給水ポンプ室、制御用空気圧縮機室 08時間/各トリン 同トリン同時 0時間 タービン電動補助給水ポンプ室、安全補機閉閉器室 同トリン同時 0時間/各室
安全補機室空気浄化系統	MS-1⑤放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トリン 同トリン同時 <72時間	0時間/各トリン 同トリン同時 0時間	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<720時間/各トリン 全トリン同時 <240時間	0時間/各トリン 全トリン同時 0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
中央制御室換気空調系統	MS-1⑤放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<720時間/各トリン 全トリン同時 <240時間	0時間/各トリン 全トリン同時 0時間	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	0回	<720時間	0時間	●原子炉補機冷却水系統の全熱除去ポンプ3B及び電動機冷却水出入口系統の主配管から、補機冷却水系統側の接続配管もこの指標で管理する。
空調用冷水設備系統	アタンデントマニピュレーション機能【代替補機冷却】	<2回	0回	<720時間	0時間	
	MS-1⑤放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
1次系試料採取系統	MS-1⑩放射能物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウングリ】	-	-	-	-	●格納容器バウングリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
モニタ空気サンプリング系統	MS-2②事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	●格納容器バウングリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
格納容器真空逃がし系統	MS-1⑩放射能物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウングリ】	-	-	-	-	●格納容器バウングリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
	MS-2②事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
格納容器真空逃がし系統	MS-1⑩放射能物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウングリ】	-	-	-	-	●格納容器バウングリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
	原子炉格納容器真空逃がし機能	<2回	0回	<240時間/系統 2系統同時 0時間	0時間/系統 2系統同時 0時間	
炉内核計装装置ガスバージ設備系統	MS-1⑩放射能物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウングリ】	-	-	-	-	●格納容器バウングリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
	MS-1⑩放射能物質の閉じ込め機能 【原子炉格納容器バウングリ】	-	-	-	-	●格納容器バウングリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑩指標で管理する。
非常用ディーゼル発電機系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	ディーゼル発電機 燃料油サービスタング時油量 <240時間/各基 燃料油・潤滑油・始動用空気 <48時間/各系/各基	ディーゼル発電機 50時間30分/A号機 50時間35分/B号機 燃料油サービスタング時油量 0時間/各基 燃料油・潤滑油・始動用空気 0時間/各系/各基	
	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	すべての外部電源が他の回線に対して独立性を有していない場合、および動作可能な外部電源が2回線である場合 720時間/系統 動作可能な外部電源が1回線である場合 240時間 すべての外部電源が動作不能 24時間	すべての外部電源が他の回線に対して独立性を有していない場合、および動作可能な外部電源が2回線である場合 5531時間18分/系統 動作可能な外部電源が1回線である場合 0時間 すべての外部電源が動作不能 0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
メタラフ系統	MS-1⑩原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	0回	<6時間/各チャンネル	0時間/各チャンネル	
	MS-1⑪安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<8時間/各母線	0時間/各母線	
	MS-2⑯運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
パワーセンター系統	MS-1⑪安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<8時間/各母線	0時間/各母線	
	MS-2⑯運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
コントロールセンター系統	MS-1⑪安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<8時間/各母線	0時間/各母線	
	MS-2⑯運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<1回	0回	非常用直流母線 <2時間/各母線 蓄電池及び充電器 <128時間/各母線	非常用直流母線 0時間/各母線 蓄電池及び充電器 0時間/各母線	
直流電源装置系統	MS-1⑪安全上特に重要な関連機能	<2回	0回	-	-	
	MS-2⑯運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<1回	0回	<2時間/各母線	0時間/各母線	
計装用電源系統	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	MS-1⑪安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<1時間/各トレイン	0時間/各トレイン	
制御棒駆動電源装置系統	MS-2⑯運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	-	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
原子炉制御保護装置	MS-1①原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	0回	<1時間/各チャンネル <1時間/各インターロックチャンネル <48時間/各手動回路 <6時間/各シフト盤 <6時間/各シーケンス盤	0時間/各チャンネル 0時間/各インターロックチャンネル 0時間/各手動回路 0時間/各シフト盤 0時間/各シーケンス盤	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<6時間/各DGNレイン <720時間/各MI信号レイン <6時間/各シーケンス盤	0時間/各DGNレイン 0時間/各MI信号レイン 0時間/各シーケンス盤	
	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	0回	<240時間/各レイン	0時間/各レイン	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<1回	0回	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<72時間/各シーケンス盤	0時間/各シーケンス盤	
	MS-2⑤運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
	MS-3③原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】	<2回	0回	モード1~3 <72時間/各透がし弁 モード4~6 <24時間	モード1~3 0時間/各透がし弁 モード4~6 0時間	
	制御室退避時制御盤への情報伝送機能	<2回	0回	-	-	
	制御棒位置指示機能	<2回	0回	-	-	
	PS-3⑤プラント制御・制御機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
制御棒制御装置	制御棒へぐ位置表示機能	<2回	0回	-	-	
	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
制御室退避時制御盤	MS-3③緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能【LCO】	<2回	0回	-	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPF)回数		非待機時間(LA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
炉外核計装装置	MS-1⑦原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	0回	<0時間/各チャンネル <1時間/各インターロックチャンネル	0時間/各チャンネル 0時間/各インターロックチャンネル	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
炉内核計装装置	線源領域中性子束指示機能	<2回	0回	-	-	
	PS-3⑤プラント計測・制御機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
放射線監視装置	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	0回	-	-	
換気系制御室退避時制御盤	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	-	-	●燃料取扱種のMS-2③放射性物質放出の防止機能も含む。
建屋(原子炉補助建屋)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	-	-	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	-	-	●中央制御室の遮へい機能。
防護設備	電巻、温水等に対して電用原子炉施設を防護する機能	<2回	0回	-	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPF回数)		目録値(1年/1回あたり)		非稼働時間(UA時間)		備考	
		目録値(1年/1回あたり)	実績値	目録値(2年/1回あたり)	実績値				
重大事故等対処設備	2次冷却系からの除熱(蒸気放出)をす るための設備	0回	0回	主蒸気逃がし弁 72時間/個 2個以上同時 24時間	主蒸気逃がし弁 0時間/個 2個以上同時 0時間	静的触媒式水素再結合装置 72時間/基 2個以上同時 24時間	静的触媒式水素再結合装置 0時間/基 2個以上同時 0時間		
	水素爆発による原子炉格納容器の破 損を防止するための設備	0回	0回	静的触媒式水素再結合装置 72時間/基 2個以上同時 24時間	静的触媒式水素再結合装置 0時間/基 2個以上同時 0時間	格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系 720時間	格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系 0時間		
	水素爆発による原子炉建屋等の損傷を 防止するための設備	0回	0回	アニュラス空気浄化系 0時間/全系統同時 代替空気(置業)系統 240時間	アニュラス空気浄化系 0時間/全系統同時 代替空気(置業)系統 0時間				
	使用済燃料ピットの冷却等のための設 備	0回	0回	—	—				
	発電所外への放射性物質の拡散を抑 制するための設備	0回	0回	大型ポンプ車(泡混合機能付)、大型放水砲、 泡混合器、大型放水砲、 240時間 放射性物質吸着剤、 海水ピットシールドフェンス、取水ピットシールドフェンス、 放水ピットシールドフェンス、放水ピットシールドフェンス、 雨水排水溝海洋シールドフェンス、小型船舶 240時間	大型ポンプ車(泡混合機能付)、大型放水砲、 泡混合器、大型放水砲、 0時間 放射性物質吸着剤、 海水ピットシールドフェンス、取水ピットシールドフェンス、 放水ピットシールドフェンス、放水ピットシールドフェンス、 雨水排水溝海洋シールドフェンス、小型船舶 0時間				
	重大事故等の収束に必要な氷の供 給設備	0回	0回	中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給系 240時間 燃料取替用水タンク水量 1時間 補助給水タンク水量 72時間	中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給系 0時間 燃料取替用水タンク水量 0時間 補助給水タンク水量 0時間				
	電源設備	0回	0回	非常用ガスタービン発電機からの電源系または 空冷式非常用発電装置からの電源系 240時間 300kVA電源車および300kVA電源車用変圧器 からの電源系 720時間 蓄電池(非常用) 全系統同時 720時間 蓄電池(重大事故等対処用) 全系統同時 720時間 蓄電池(3系統目) 720時間 可搬型直流電源装置 720時間/系統 (75kVA電源車および可搬型整流器)からの電源系 240時間 代替所内電気設備からの給電系 重油タンク油量 48時間 軽油タンク油量 72時間 ミニローリー 72時間/台 3台同時 48時間	非常用ガスタービン発電機からの電源系または 空冷式非常用発電装置からの電源系 0時間 300kVA電源車および300kVA電源車用変圧器 からの電源系 0時間 蓄電池(非常用) 全系統同時 0時間 蓄電池(重大事故等対処用) 全系統同時 0時間 蓄電池(3系統目) 0時間 可搬型直流電源装置 (75kVA電源車および可搬型整流器)からの電源系 0時間/系統 代替所内電気設備からの給電系 0時間 重油タンク油量 0時間 軽油タンク油量 0時間 ミニローリー 0時間/台 3台同時 0時間				

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(2ヶ月前あたり)	実績値	目標値(2ヶ月前あたり)	実績値	
重大事故等対処設備	計装設備		0回	可搬型計測器 所要数を満足できない状態 720時間	可搬型計測器 所要数を満足できない状態 0時間	
	中央制御室		0回	中央制御室非常用備蓄系 全系統同時 720時間 中央制御室用可搬型照明, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	中央制御室非常用備蓄系 全系統同時 0時間 中央制御室用可搬型照明, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 0時間	
	監視測定設備		0回	-	-	
	緊急時対策所	SAクラス2: <1回 SAクラス3: <2回	0回	緊急時対策用発電機 240時間/台 緊急時対策所空気浄化系 全系統同時 240時間 緊急時対策所加圧装置 240時間 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	緊急時対策用発電機 0時間/台 緊急時対策所空気浄化系 全系統同時 0時間 緊急時対策所加圧装置 0時間 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 0時間	
	通信連絡を行うために必要な設備		0回	240時間	0時間	
	中盤ポンプ車		0回	中盤ポンプ車 720時間/台 3台以上同時 240時間	中盤ポンプ車 0時間/台 3台以上同時 0時間	
	その他設備		0回	240時間	0時間	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法（一定の期間に限る）を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法（一定の期間に限る）を変更

なし